

# 入間市生涯学習市民意識アンケート報告書



平成21年12月

入間市・入間市教育委員会

発行にあたって

入間市では、平成 8 年に策定した「入間市生涯学習推進計画プラン 21」の終了を控え、平成 13 年に生涯学習市民意識調査を実施し、その結果を基に平成 17 年に第 2 次入間市生涯学習推進計画「いるま生涯学習プラン 21」を策定しました。同計画に基づき学習機会の充実、生涯学習情報の整備、生涯学習推進事業等に取り組んでまいりました。

前回の意識調査から 6 年、計画策定から 4 年を経て、市民の生涯各期における生きがいや生きるための学習に対する意識は、ますます高まっていると感じます。学校教育の中では、子どもたちの「生きる力」を育むための新たな学習環境を、学校、家庭、地域で模索しています。

また、景気の低迷による就職難や育児不安、少子高齢化の進行とともに高まる介護や健康への不安といった社会的背景により、新たな学習や知識といったものが求められています。

そこで、市では、市民が求めているものを正確に把握することにより、これまで行ってきた事業の効果や推進計画の現状と課題を分析するために、今回のアンケートを実施し、報告書としてまとめました。

今後、この結果は、市の関係課・施設、関係団体、市内の民間教育事業者など、生涯学習に関わる機関・団体の皆様とともに、計画期間に行うべき事業の方針を検討し、新たな施策を模索する参考資料としていきたいと存じます。

終わりにあたり、この調査にご協力いただきました多くの市民の皆様、ならびに事業の企画・実施をともに行っていただきました「入間市生涯学習をすすめる市民の会」の方々に、心より感謝申し上げます。

平成 21 年 12 月

入間市長 木下 博

# 目 次

I 調査概要	3
1 調査の目的	4
2 調査の方法	4
3 回収結果	6
4 調査票	8
II 調査結果	13
1 集計結果とその傾向	14
III 調査結果の分析～第2次入間市生涯学習推進計画に沿って～	63

# *I* 調査概要

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

- ・ 生涯学習についての市民の意識を探る
- ・ 入間市生涯学習推進計画の進捗状況の確認
- ・ 第3次入間市生涯学習推進計画策定のための課題を抽出

## 2. 調査の方法

- ・ 調査地域 : 入間市全域
- ・ 対象者・数 : 市内在住の20歳以上の男女、1,100人

対象者内訳

世代・性別		人数		計
		男	女	
20歳代	男	25		50
	女	25		
30歳代	男	25		50
	女	25		
40歳代	男	150		300
	女	150		
50歳代	男	150		300
	女	150		
60歳代	男	150		300
	女	150		
70歳以上	男	50		100
	女	50		
合計				1100

- ・ 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為抽出
- ・ 収集方法 : アンケートを郵送配布・回収（返信用封筒同封）
- ・ 調査期間 : 平成20年11月初旬～11月30日
- ・ 調査票 : 8～12頁参照
- ・ 調査項目

### 1. 生涯学習について

- 問1 「生涯学習」の認知度
- 問2 「生涯学習」の関心

2. 市民の生涯学習活動について
  - 問 3 生涯学習活動等の有無
  - 問 4 生涯学習活動をしていない理由
  - 問 5 活動等をしている生涯学習の分野
  - 問 6 生涯学習活動等の方法について
  - 問 7 生涯学習等の主な活動場所について
  - 問 8 生涯学習等の主な活動時間帯について
  - 問 9 活動成果などの活かし方
  - 問 10 活動成果を再活用していない理由
3. 地域と学校について
  - 問 11 開かれた学校づくりについて
  - 問 12 市民の学び等を学校教育に活用することについて
  - 問 13 学校教育に活用できる市民の学び等について
4. ボランティア活動について
  - 問 14 ボランティア活動の経験
  - 問 15 ボランティア活動に活用できる市民の学び他
  - 問 16 ボランティア活動を盛んにするには
5. 学習情報の提供、相談について
  - 問 17 学習、活動情報の入手方法
  - 問 18 情報提供の満足度
  - 問 19 情報提供の満足度の理由
  - 問 20 生涯学習相談の経験
  - 問 21 生涯学習相談の場所
  - 問 22 生涯学習相談の内容
6. いるま生涯学習フェスティバルについて
  - 問 23 フェスティバルの認知度
  - 問 24 フェスティバルの感想
7. 生涯学習全般について
  - 問 25 学習活動等の環境整備
  - 問 26 生涯学習活動を充実するために必要な取り組み
8. 回答者の属性
  - 問 27 性別
  - 問 28 年代
  - 問 29 居住地区

### 3. 回収結果

(1) 発送数 1,100 (100%)

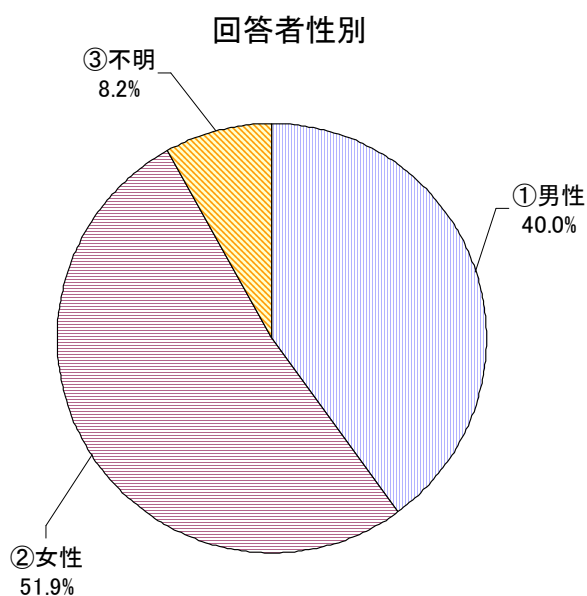
(2) 有効回収数 (率) 453 (41.1%)

※有効回収数とは、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数

(3) 回答者の基本属性

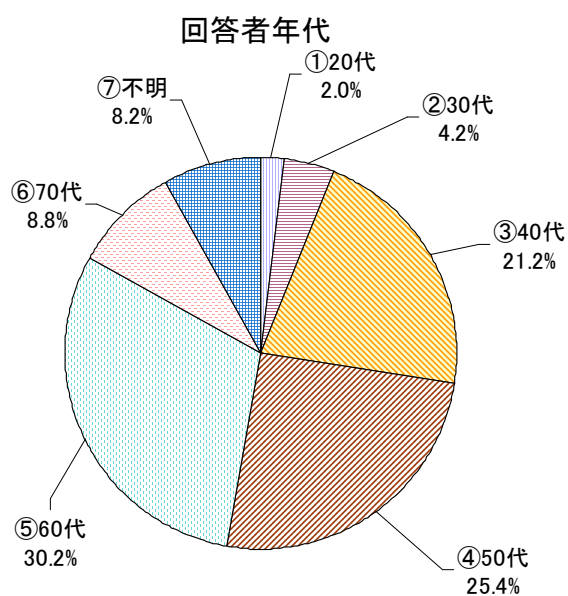
以下は、調査票の間 27～29 の回答をグラフ化したものである。

《性別》(問 27)



回答	回答数
①男性	181
②女性	235
③不明	37

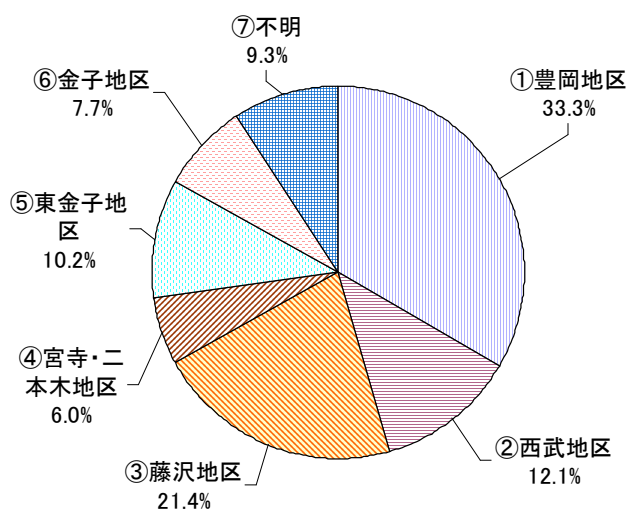
《年齢》(問 28)



回答	回答数
①20代	9
②30代	19
③40代	96
④50代	115
⑤60代	137
⑥70代	40
⑦不明	37

《居住地》（問 29）

回答者居住地



地区	回答数
①豊岡	151
②西武	55
③藤沢	97
④宮寺・二本木	27
⑤東金子	46
⑥金子	35
⑦不明	42

※市内の地区区分

豊岡地区	豊岡・扇町屋・善蔵新田・東町・扇台・久保稻荷・黒須・河原町 春日町・宮前町・鍵山・高倉・向陽台
西武地区	仏子・野田・新光
藤沢地区	上藤沢・下藤沢・東藤沢
宮寺・二本木地区	宮寺・二本木・駒形富士山・狭山台・高根
東金子地区	小谷田・上小谷田・新久・森坂・牛沢町・狭山ヶ原
金子地区	根岸・中神・花ノ木・下谷ヶ貫・上谷ヶ貫・西三ツ木・三ツ木台 金子中央・寺竹・南峯・木蓮寺

# 生涯学習に関する市民アンケート

～あなたの声をお聞かせください～

日頃より、市行政に対しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

入間市では、市民の皆様に、生涯にわたる充実した学習活動や仲間作りをしていただくために、様々な催しや情報提供を行い、生涯学習によるまちづくりを推進しております。

さて、このたび、より一層皆様の学習活動やまちづくりを支援する基礎資料とするために、市民アンケートを実施させていただくことになりました。

このアンケートは、市内にお住まいの20歳以上の方1,100人を無作為に抽出させていただきましたところ、あなた様がその一人に選ばれました。

つきましては、アンケート用紙にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて**11月末日**までにご返送ください。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月

入間市・入間市教育委員会



## 【ご記入にあたって】

- ① 回答は、あて名のご本人が記入してください。
- ② 回答は、あてはまる番号に○を付けてください。また、質問に「複数回答可」や「2つ」などと記されている場合は、指定された数を選んで○を付けてください。
- ③ 回答で「その他」をお選びになった場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- ④ アンケートは、無記名で、その結果は統計的に処理いたします。ご回答いただきました情報は、特定の個人の情報として公表することはなく、ご迷惑をおかけすることはありません。

●本アンケートに関するお問い合わせは・・・入間市教育委員会生涯学習課

☎04-2964-1111 (内線 4123、4124)

## －アンケート用紙－

<p>◎「生涯学習」についておたずねします。</p>
<p>問1 「生涯学習」という言葉をご存知でしたか？</p> <p>1. 知っている 2. 聞いたことはあるが意味はよく知らない 3. 知らない</p>
<p>問2 「生涯学習」についてどのように考えますか？</p> <p>1. 積極的にやりたいと思う 2. 現在は時間がないが将来はやってみたい 3. 行いたい、なにをしてよいかわからない 4. 関心がない 5. その他( )</p>
<p>◎あなた自身の生涯学習についておたずねします。</p>
<p>問3 あなたは現在、何か学習や活動をしていますか？</p> <p>1. している 2. していない</p> <p>→1. と答えた方は、問5～問10にお答えください。 2. と答えた方は、問4にお答えください。</p>
<p>問4 「していない」理由は何ですか？（複数回答可）</p> <p>1. 特に必要と考えていない 2. 忙しくて時間がとれない 3. 希望する内容の学習機会がない 4. 時間帯が合わない 5. 活動の場所がない 6. 仲間がいない 7. お金がかかる 8. 学習や活動が好きではない 9. 子どもや高齢者などの世話がある 10. その他( ) →問11へお進みください。</p>
<p>問5 現在行っている学習や活動の分野を、次の中から選んでください。（複数回答可）</p> <p>1. 趣味的なもの 2. 健康・スポーツ 3. 職業上必要な知識・技術 4. 家庭生活に役立つ技能 5. 育児・教育 6. 語学 7. 政治・経済・社会問題 8. 福祉関係 9. ボランティア活動 10. その他( )</p>
<p>問6 どのような方法で学習や活動を行っていますか？（複数回答可）</p> <p>1. 公民館等の公共施設の講座に参加 2. PTA・子ども会・婦人会などの団体の事業に参加 3. 公共施設で活動しているサークルに参加 4. 民間施設等で活動しているサークルに参加 5. 民間のカルチャーセンター・各種学校・スポーツ教室等に参加 6. 通信教育や放送大学での学習 7. 大学等が行う公開講座を受講 8. お稽古等個人教授で学習 9. 個人で学習・活動（読書、研究、創作等） 10. インターネットやパソコンのソフトを利用した学習 11. その他( )</p>
<p>問7 学習や活動の場所はおもにどんなところですか。次の中から選んでください。（複数回答可）</p> <p>1. 公民館 2. 図書館 3. 博物館（アリット） 4. 児童センター 5. 青少年活動センター 6. 市民体育館 7. 地区体育館 8. 武道館 9. 文化創造アトリエ（アミーゴ） 10. 健康福祉センター 11. 市民活動センター 12. その他の公共施設 13. 民間カルチャーセンター 14. 民間スポーツ施設 15. 地区の集会所 16. 学校（小中高校） 17. 大学 18. 自宅 19. 講師自宅 20. その他( )</p>

<p><b>問8 学習や活動をしているおもな時間帯はいつですか？（複数回答可）</b></p> <p>1. 平日の午前 2. 平日の午後 3. 平日の夜間 4. 土曜日の午前 5. 土曜日の午後 6. 土曜日の夜間 7. 日曜日の午前 8. 日曜日の午後 9. 日曜日の夜間</p>
<p><b>問9 学習や活動の成果を、何かに活用していますか？（複数回答可）</b></p> <p>1. 健康管理や趣味に活かしている 2. 大会や発表会等で発表、紹介している 3. ボランティアや地域活動に活かしている 4. 講師や指導者をしている 5. 仕事に活かしている 6. 家庭生活に活かしている 7. 現在は活用していないが、将来は活かしたい 8. 活用していない(→問10へ) 9. その他( )</p>
<p>【問9で「活用していない」と答えた方にかがいます。】</p>
<p><b>問10 その理由は何ですか？</b></p> <p>1. 自分自身の学習で満足している 2. 活用する時間がない 3. 活用する場がない 4. 活用するための情報がない 5. どのように活用できるのかわからない 6. その他( )</p>
<p><b>◎あなたの地域の学校についておたずねします。</b></p>
<p><b>問11 小中学校において、地域に開かれた学校づくりに必要と思うことはなんですか？</b></p> <p>1. 学校の地域活動への参加 2. 余裕教室を地域に開放 3. 学校情報の地域への提供 4. 学校施設（余裕教室以外）の開放 5. 地域の人材や社会教育施設の活用 6. その他( ) 7. よくわからない</p>
<p><b>問12 あなたの持つ知識、技術、経験等を学校教育に活用したことがありますか？</b></p> <p>1. 授業に活用した 2. クラブ活動の指導に活用した 3. 安全活動に協力した 4. 美化活動に協力した 5. その他の学校行事に協力した 6. その他( ) 7. 活用したことはない</p>
<p><b>問13 あなたの持つ知識、技術、経験等を学校教育に活かすとしたら何ができますか？</b></p> <p>1. 授業に活かしたい 2. クラブ活動の指導に活かしたい 3. 安全活動に活かしたい 4. 美化活動に活かしたい 5. その他の学校行事に活かしたい 6. その他( ) 7. 考えていない</p>
<p><b>◎ボランティア活動に関しておたずねします。</b></p>
<p><b>問14 ボランティア活動に参加したことがありますか？</b></p> <p>1. ある 2. 機会があれば参加してみたい 3. 参加したことがない</p>
<p><b>問15 ボランティアとして、あなたの知識や技術を提供するとしたらどのようなことですか？（複数回答可）</b></p> <p>1. 子育て支援 2. 生涯学習の推進 3. 健康・スポーツ 4. 地域づくり 5. 福祉関係 6. 学校支援 7. 環境 8. その他( )</p>

<p><b>問 16 市民のボランティア活動を盛んにするために、特にどのような点に力を入れたらよいと思いますか？（2つ選んでください。）</b></p> <p>1. ボランティア情報を提供する窓口の設置 2. ボランティアコーディネーターの設置 3. 子供のころからのボランティア体験活動の推進 4. ボランティア休暇制度の普及 5. ボランティア養成講座の充実 6. ボランティア活動を評価する仕組み作り 7. ボランティア活動の奨励や啓発活動の充実 8. 指導者の育成 9. その他（ ）</p>
<p><b>◎学習情報の提供と学習相談についておたずねします。</b></p>
<p><b>問 17 学習や活動に関する情報は、どのような方法で入手していますか？（複数回答可）</b></p> <p>1. 市報 2. 公民館だより 3. 冊子「いるま生涯学習ガイドブック」 4. 冊子「いるま学びの場」 5. 生涯学習情報誌「かがやく」 6. 入間市公式ホームページ 7. インターネット 8. くちコミ 9. 新聞・ミニコミ紙 10. テレビ・ラジオ 11. ポスター・チラシ 12. その他の公共施設情報紙 13. その他（ ）</p>
<p><b>問 18 現在の生涯学習情報の提供に満足していますか？</b></p> <p>1. 満足している 2. やや満足している 3. やや不満である 4. 不満である</p>
<p><b>問 19 その理由は何ですか？</b></p> <p>1. 現状のままで十分足りている 2. 情報が入手しにくい 3. 必要な情報が得られない 4. 情報量が少ない 5. 情報源がバラバラである 6. 外国人向けや障害者向けの情報が少ない 7. その他（ ）</p>
<p><b>問 20 生涯学習に関する相談をしたことがありますか？</b></p> <p>1. ある 2. ない</p>
<p><b>【問 20 で「ある」と回答された方にうかがいます。「ない」の方は問 23 へ】</b></p>
<p><b>問 21 どこに相談しましたか？（複数回答可）</b></p> <p>1. 公民館 2. 図書館 3. 博物館（アリット） 4. 児童センター 5. 青少年活動センター 6. 体育館・武道館 7. 市民会館・産業文化センター 8. 文化創造アトリエ（アミーゴ） 9. 市民活動センター 10. 市役所・支所 11. 小中学 12. 大学 13. その他（ ）</p>
<p><b>問 22 相談の内容はどんな事でしたか？（複数回答可）</b></p> <p>1. 講座やイベント情報について 2. サークル情報について 3. 生涯学習のできる施設について 4. 講師や指導者について 5. ボランティア活動について 6. 学習方法や素材の収集方法について 7. その他（ ）</p>
<p><b>◎いるま生涯学習フェスティバルについておたずねします。</b></p>
<p><b>問 23 いるま生涯学習フェスティバルをご存じですか？</b></p> <p>1. 知っているが参加したことはない 2. 参加したことがある 3. ほとんど毎年参加している 4. 知らない</p>

【参加したことがある方にお聞きします】

問 24 ご感想はいかがでしたか？

1. 大変良かった 2. 良かった 3. 普通だった 4. 物足りなかった 5. つまらなかった 6. その他 ( )

◎生涯学習全般についておたずねします。

問 25 入間市は、誰もが学習や文化活動に参加しやすい環境だと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらとも言えない 4. あまり思わない  
5. まったく思わない 6. よくわからない

問 26 生涯学習を充実するために、特に力を入れてほしいことは何ですか？（2つ選んでください）

1. 講座やサークルの種類や数を増やす 2. 夜間や休日に開催する講座や講習会を増やす 3. 関心の高い講座や講習会を増やす 4. 高度な内容の講座や講習会を増やす 5. 仕事や就職に活かせる講座や講習会を増やす 6. 学習や活動を行う施設を整備充実する 7. 施設の利用日や時間帯を拡大する 8. 学習や活動に関する情報提供を充実する 9. 講座などに参加するとき、子供の保育を実施する 10. 高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する 11. 学習や活動に対する常設の相談窓口を設置する 12. その他 ( ) 13. 特にない

◎最後にあなた自身のことについておたずねします。

問 27 あなたの性別は？

1. 男 2. 女

問 28 あなたの年齢は？

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70歳以上

問 29 あなたのお住まいは？【わからない場合は、7に町名（扇台、仏子など）をお書きください。】

1. 豊岡地区 2. 西武地区 3. 藤沢地区 4. 宮寺・二本木地区 5. 東金子地区  
6. 金子地区 7 ( )

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケートは**11月末日**までに、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。

なお、集計結果は、後日、市公式ホームページなどで公表いたします。

# Ⅱ 調査結果

## 調査結果の見方について

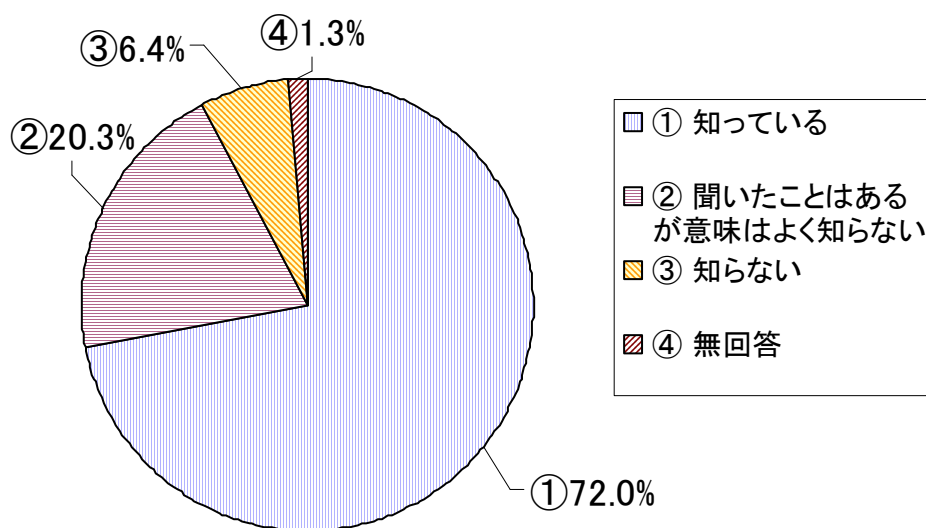
### 1 集計結果とその傾向

- ここでは、問1～26について、設問ごとに、単純集計結果（表、円グラフ）、年代・男女別集計表と回答に付随する文字情報、データからみた傾向の順に記載した。設問により前回調査結果との比較（棒グラフ）を追加した。なお、問27～29の回答については、回収結果の「回答者の基本属性」の項（6～7頁）に記載した。
- 比率は全て百分率（%）で表し、小数第2位以下を四捨五入して算出した。
- 有効回答者数453を100%として算出したが、複数回答等により、増減する場合もある。
- 数字選択項目の中でどれが該当しているのか判読しづらい場合、回答数や回答者を限定した設問を無視した回答の場合は、いずれもその設問のみ、無効とした。
- 文字情報は、回答項目「その他」以下の文字情報を記載した。また、各情報の最後尾に記した（ ）書きの語句は、世代・性別を表す。
- 文字情報は原則的には原文のままだが、表現が異なっても内容がほぼ同じと判断した場合は1つの文に集約した。

## 生涯学習の認知度

問1 「生涯学習」という言葉をご存知でしたか？

		計	
①	知っている	326	72.0%
②	聞いたことはあるが意味はよく知らない	92	20.3%
③	知らない	29	6.4%
④	無回答	6	1.3%
計		453	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝453）

	1 知っている	2 聞いたことが あるが意味は 良く知らない	3 知らない	4 無回答
20代男	3	0	0	0
30代男	3	1	0	0
40代男	22	12	5	1
50代男	39	10	3	0
60代男	44	10	5	0
70代男	17	4	1	0
20代女	2	2	2	0
30代女	7	6	2	0
40代女	39	15	2	0
50代女	47	11	3	2
60代女	64	11	1	1
70代女	15	2	1	0
不明	24	8	4	2
計	326	92	29	6

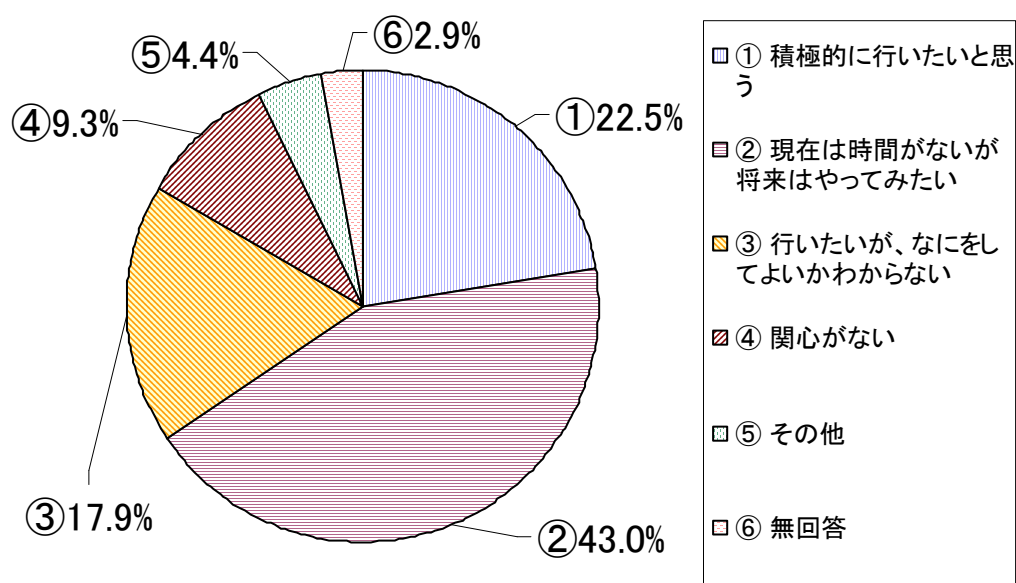
【データからみた傾向】

「知っている」と答えた方の割合が約7割である。また、「聞いたことがある」を合わせると9割を超えている。前回調査（平成13年）との比較では「知っている」という答えた方が56%であったので、生涯学習という言葉がかなり認識されてきたといえる。世代別に見ると、女性では世代が高くなるにつれて「意味も知っている」割合が高くなっている。

生涯学習への関心

問2 「生涯学習」についてどのように考えますか？

		計	
①	積極的に行いたいと思う	102	22.5%
②	現在は時間がないが将来はやってみたい	195	43.0%
③	行いたい、なにをしてよいかわからない	81	17.9%
④	関心がない	42	9.3%
⑤	その他	20	4.4%
⑥	無回答	13	2.9%
計		453	100.0%



年代・男女別集計表（件数:総数=453）

	1 積極的に 行いたい と思う	2 現在は時間 がないが 将来は やってみ たい	3 行いたい が、何 をしてよ いかわ からない	4 関心 がない	5 その他	6 無 回答
20代男	0	3	0	0	0	0
30代男	0	3	0	1	0	0
40代男	8	21	6	4	1	0
50代男	7	31	6	7	1	0
60代男	15	29	9	3	2	1
70代男	7	3	7	4	1	0
20代女	0	2	2	2	0	0
30代女	3	7	2	1	1	1
40代女	13	24	12	7	0	0
50代女	14	29	13	5	2	0
60代女	21	30	15	1	7	3
70代女	5	1	2	2	3	5
不明	9	12	7	5	2	3
計	102	195	81	42	20	13

#### その他回答欄

希望するもの、興味のあるものがあれば行いたい（40代男）  
 特に興味はないが、たまたまやっている（50代男）  
 出来ればやりたいが出来ない状況である（50代女）  
 現在行っている（50代女）  
 価値観や人生観、生活レベルと関係すると思われる（60代男）  
 税金を使ってやるような行政指導ではやりたくない（60代男）  
 個人的に許される範囲で学べば良いのでは（60代女）  
 一種類のみに集中（文芸人間へ投稿）（60代女）  
 自身に病気がある（60代女）  
 生涯学習と思うことはやっているが、仲間づくりにはなっていないと思う（60代女）  
 特に積極的でないが、ゆったり行いたいと思う（60代女）  
 努めて好きなことに挑戦しています（70代男）  
 都度、参加している（70代女）  
 勉強になると思うが身体がついていけない（70代女）  
 積極的ではないが基本は自分でやることも、しかし仲間との時間も大切に（70代女）

#### 【データからみた傾向】

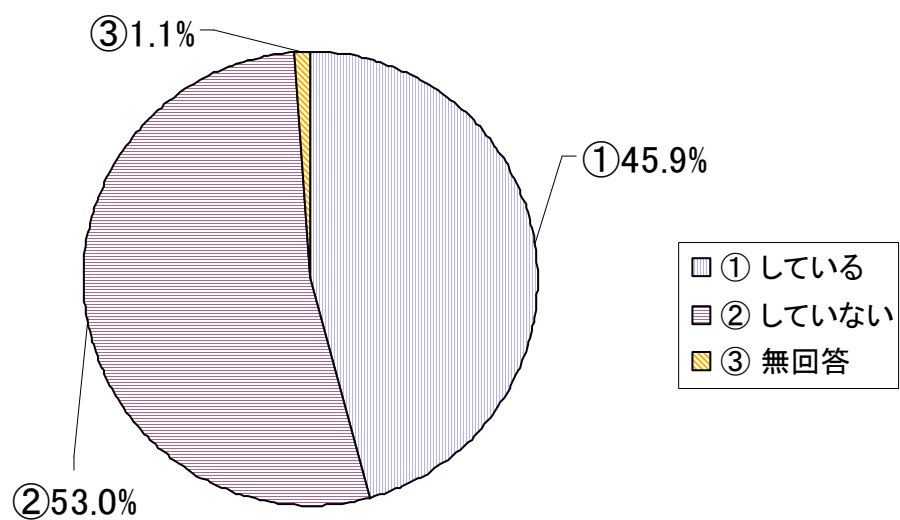
前回の調査では「行いたい」、「やってみたい」、「関心がない」という回答がそれぞれ29%、39%、8%であったので、全体的に見ると前回からあまり大きな変化はみられない。

ほとんどの世代・性別で、「現在は時間がないが将来はやってみたい」の割合が最も高く、「積極的に行いたいと思う」と合わせると、7割近くが生涯学習に意欲的である。

生涯学習活動等の有無

問3 あなたは現在、何か学習や活動をしていますか？

		計	
①	している	208	45.9%
②	していない	240	53.0%
③	無回答	5	1.1%
計		453	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数=453）

	1 している	2 していない	3 無回答
20代男	2	1	0
30代男	3	1	0
40代男	14	26	0
50代男	18	34	0
60代男	25	33	1
70代男	9	13	0
20代女	1	5	0
30代女	5	10	0
40代女	27	29	0
50代女	26	36	1
60代女	47	29	1
70代女	15	3	0
不明	16	20	2
計	208	240	5

【データからみた傾向】

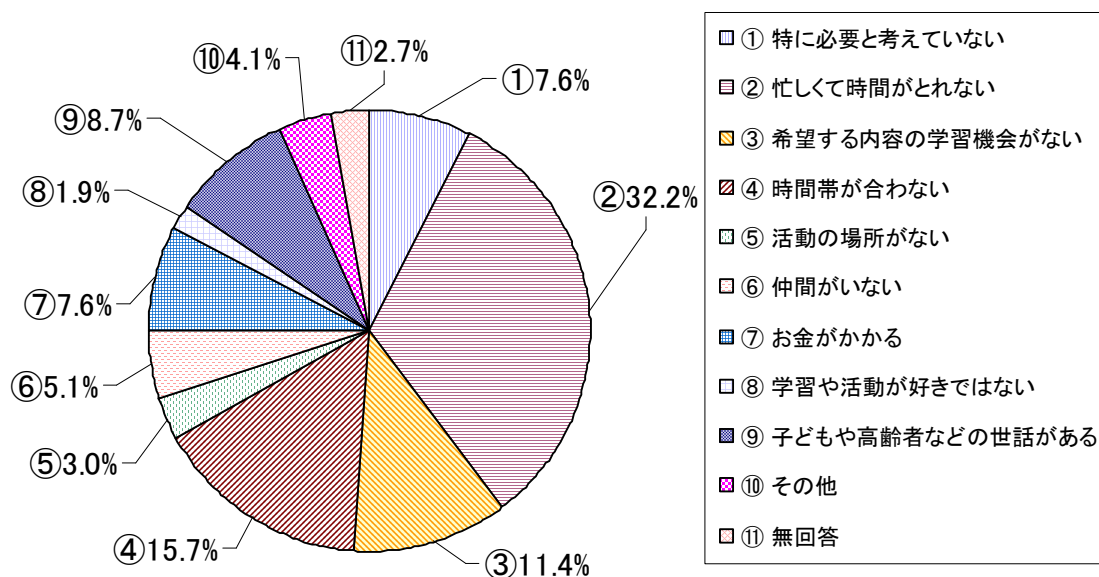
「していない」が過半数を超えているが、前回の調査と比べると約10ポイント下がり、逆に「している」が約10ポイント上がっている。

年齢別では、60代と70代で、「している」という意見が「していない」を上回っている。男女別の内訳で見ると、女性は「している」という意見が、男性は「していない」という意見が上回っている。

生涯学習活動等をしていない理由

問4 「していない」理由は何ですか（複数回答可）

		計	
①	特に必要と考えていない	28	7.6%
②	忙しくて時間がとれない	119	32.2%
③	希望する内容の学習機会がない	42	11.4%
④	時間帯が合わない	58	15.7%
⑤	活動の場所がない	11	3.0%
⑥	仲間がいない	19	5.1%
⑦	お金がかかる	28	7.6%
⑧	学習や活動が好きではない	7	1.9%
⑨	子どもや高齢者などの世話がある	32	8.7%
⑩	その他	15	4.1%
⑪	無回答	10	2.7%
計		369	100.0%



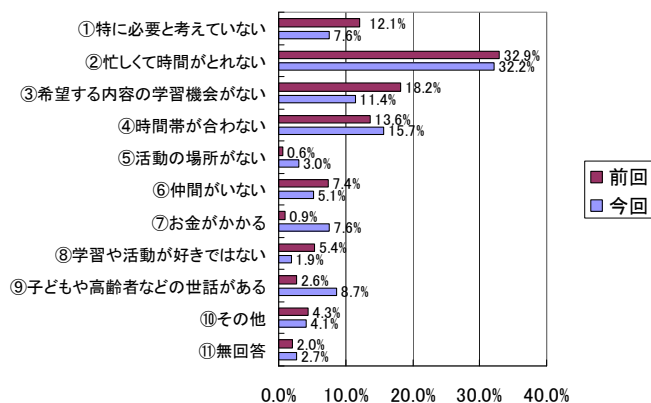
年代・男女別集計表（件数：総数＝369、複数回答可）

	1 特に必要と考 えていない	2 忙しくて時 間がとれな い	3 希望する内 容の学習機 会がない	4 時間帯が合 わわない	5 活動の場所 がない	6 仲間がいな い	7 お金がかか る	8 学習や活動 が好きでは ない	9 子どもや高 齢者などの 世話がある。	10 その他	11 無回答
20代男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
30代男	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0
40代男	2	14	3	6	2	2	4	2	1	1	2
50代男	4	24	3	10	2	2	3	0	3	0	0
60代男	4	13	8	6	3	5	4	0	0	3	3
70代男	3	1	5	1	0	2	1	2	0	1	1
20代女	1	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0
30代女	0	7	1	1	1	0	3	0	4	1	1
40代女	3	16	5	6	1	1	3	0	10	1	0
50代女	4	18	5	13	2	3	3	2	7	3	1
60代女	1	12	7	12	0	3	1	0	6	2	1
70代女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
不明	5	7	5	2	0	1	4	1	1	1	1
計	28	119	42	58	11	19	28	7	32	15	10

その他回答欄

大学生のため（20代男）  
 知らないから（30代女）  
 情報提供の不足（40代男）  
 きっかけがない（40代女）  
 更年期障害のため（50代女）  
 何をしていたかわからない（50代女）  
 知らないから活動しようがない（60代男）  
 現在求職活動中、職が決まった後に始めたい。（60代男）  
 何をしていたかわからない（60代男）  
 自身に病気がある（60代女）  
 入院中の病院の介護（60代女）  
 足が不自由なので活動場所に行けない（70代男）  
 後期高齢者だから（70代女）

前回との比較



【データからみた傾向】

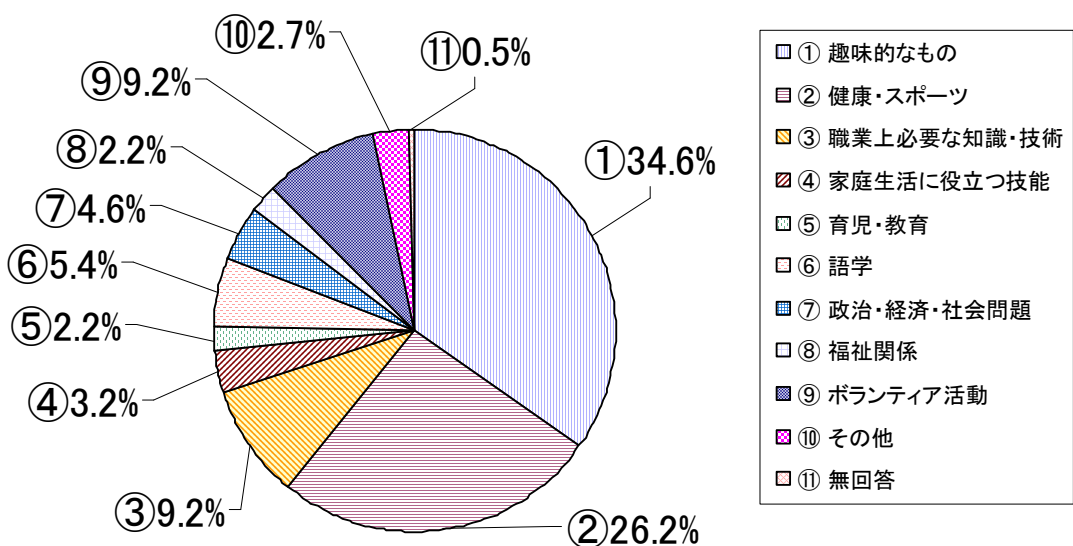
「忙しくて時間が取れない」が前回同様にトップであったが、前回3番目だった「時間帯があわない」が2ポイント増の2番目になり、前回2番目だった「希望とする内容の学習がない」が5ポイント減の3番目になった。「特に必要と考えていない」という回答も4ポイント減であり、生涯学習の意識が上がっていると推測される。

一方で、「お金がかかる」が前回の7倍、特に女性の回答が多かった「子供や乳幼児の世話がある」は前回の3倍になり、景気や社会環境にも影響を受けていると考えられる。

活動等をしている生涯学習の分野

問5 現在行っている学習や活動の分野を、次の中から選んでください  
(複数回答可)

		計	
①	趣味的なもの	128	34.6%
②	健康・スポーツ	97	26.2%
③	職業上必要な知識・技術	34	9.2%
④	家庭生活に役立つ技能	12	3.2%
⑤	育児・教育	8	2.2%
⑥	語学	20	5.4%
⑦	政治・経済・社会問題	17	4.6%
⑧	福祉関係	8	2.2%
⑨	ボランティア活動	34	9.2%
⑩	その他	10	2.7%
⑪	無回答	2	0.5%
計		370	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝370、複数回答可）

	1 趣味的なもの	2 健康・スポーツ	3 職業上必要な知識・技術	4 家庭生活に役立つ技能	5 育児・教育	6 語学	7 政治・経済・社会問題	8 福祉関係	9 ボランティア活動	10 その他	11 無回答
20代男	1	1	1	1	0	1	2	1	0	0	0
30代男	2	1	2	0	0	2	2	0	0	0	0
40代男	9	8	2	1	0	1	0	1	1	2	0
50代男	11	6	7	1	1	1	1	0	1	1	0
60代男	16	14	4	2	0	1	3	1	6	2	1
70代男	6	4	0	2	0	0	1	0	3	1	0
20代女	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
30代女	0	2	3	0	0	2	1	0	0	0	0
40代女	15	12	7	0	3	1	0	0	3	1	0
50代女	16	9	5	1	4	2	1	0	4	1	0
60代女	32	26	2	3	0	7	4	3	11	0	0
70代女	12	6	0	0	0	0	1	0	1	0	1
不明	8	7	1	1	0	2	1	1	4	2	0
計	128	97	34	12	8	20	17	8	34	10	2

#### その他回答欄

法律関係（40代男）  
 研究活動（50代男）  
 心の生涯学習（50代女）  
 リフォーム（60代男）  
 NPO活動（60代男）  
 長寿会活動（70代男）

#### 【データからみた傾向】

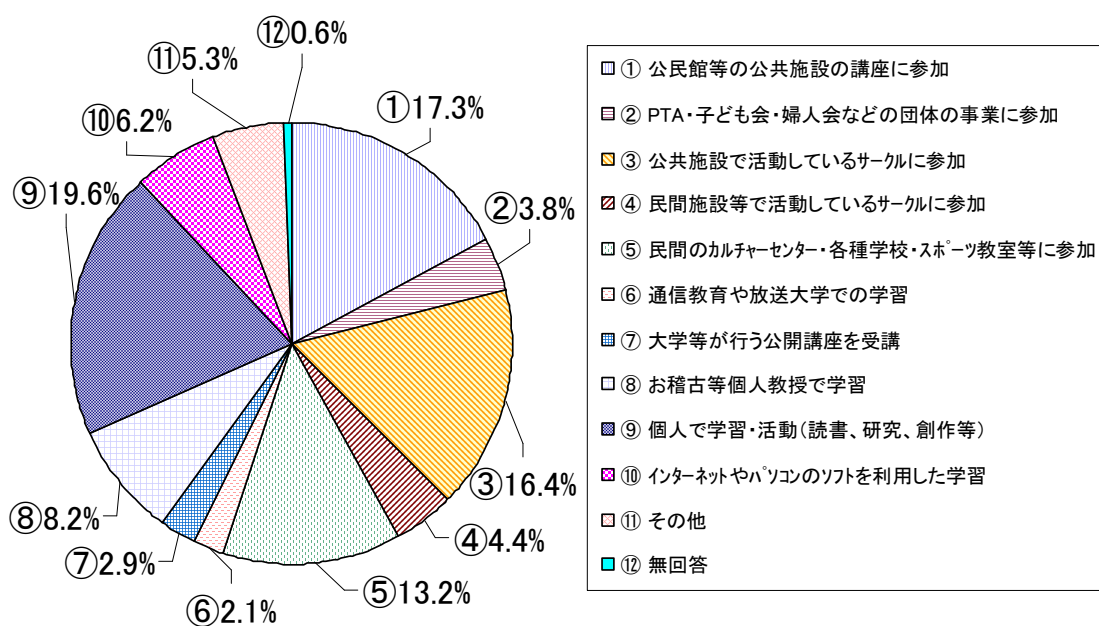
年代間のサンプル数の違いや複数回答可ということもあり、明確な傾向を見出すことは難しいが、「趣味的なもの」「健康・スポーツ」の分野に関しては性別、世代に関係なく幅広く行われている。また、「育児・教育」の分野では女性の割合が高い。

特徴として、どの分野に関しても男女関係なく40代より参加数が増え始め、60代でピークを迎えることがわかる。

生涯学習活動等の方法について

問6 どのような方法で学習や活動を行っていますか？（複数回答可）

		計	
①	公民館等の公共施設の講座に参加	59	17.3%
②	PTA・子ども会・婦人会などの団体の事業に参加	13	3.8%
③	公共施設で活動しているサークルに参加	56	16.4%
④	民間施設等で活動しているサークルに参加	15	4.4%
⑤	民間のカルチャーセンター・各種学校・スポーツ教室等に参加	45	13.2%
⑥	通信教育や放送大学での学習	7	2.1%
⑦	大学等が行う公開講座を受講	10	2.9%
⑧	お稽古等個人教授で学習	28	8.2%
⑨	個人で学習・活動（読書、研究、創作等）	67	19.6%
⑩	インターネットやパソコンのソフトを利用した学習	21	6.2%
⑪	その他	18	5.3%
⑫	無回答	2	0.6%
計		341	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝341、複数回答可）

	1 公民館等の公共施設の講座に参加	2 PTA・子ども会・婦人会などの団体事業に参加	3 公共施設で活動しているサークルに参加	4 民間施設等で活動しているサークルに参加	5 民間のカルチャーセンター・各種学校・スポーツ教室等に参加	6 通信教育や放送大学での学習	7 大学等が行う公開講座を受講	8 お稽古等個人教授で学習	9 個人で学習・活動	10 インターネットやパソコンのソフトを利用した学習	11 その他	12 無回答
20代男	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
30代男	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0
40代男	1	1	3	1	3	1	0	2	8	2	1	0
50代男	0	0	4	1	0	2	1	2	11	4	1	0
60代男	4	0	10	4	3	1	0	1	8	4	4	1
70代男	4	1	4	1	1	0	0	0	4	2	1	0
20代女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30代女	0	0	0	0	3	0	0	0	2	1	0	0
40代女	4	1	7	0	8	0	1	6	9	3	2	0
50代女	10	2	7	3	7	0	1	3	6	0	4	0
60代女	25	3	14	2	11	2	4	12	8	1	2	1
70代女	6	1	3	2	3	1	0	2	4	2	1	0
不明	4	4	4	0	5	0	2	0	4	1	2	0
計	59	13	56	15	45	7	10	28	67	21	18	2

その他回答欄

会社のクラブ（40代男）	労働組合活動（60代男）
職場研修（40代女）	NPO法人（60代男）
地域のクリスチャンの取り決めによって（40代女）	緑地保全（60代男）
ジム（50代男）	個人的なボランティア（60代女）
生涯学習セミナー（50代女）	所属する専門職能団体での研修参加（60代女）
都内で行われる講演会に進んで参加する（50代女）	テレビ（70代男）
職務を通じて行っている（60代男）	いきいき健康講座（70代女）

【データからみた傾向】

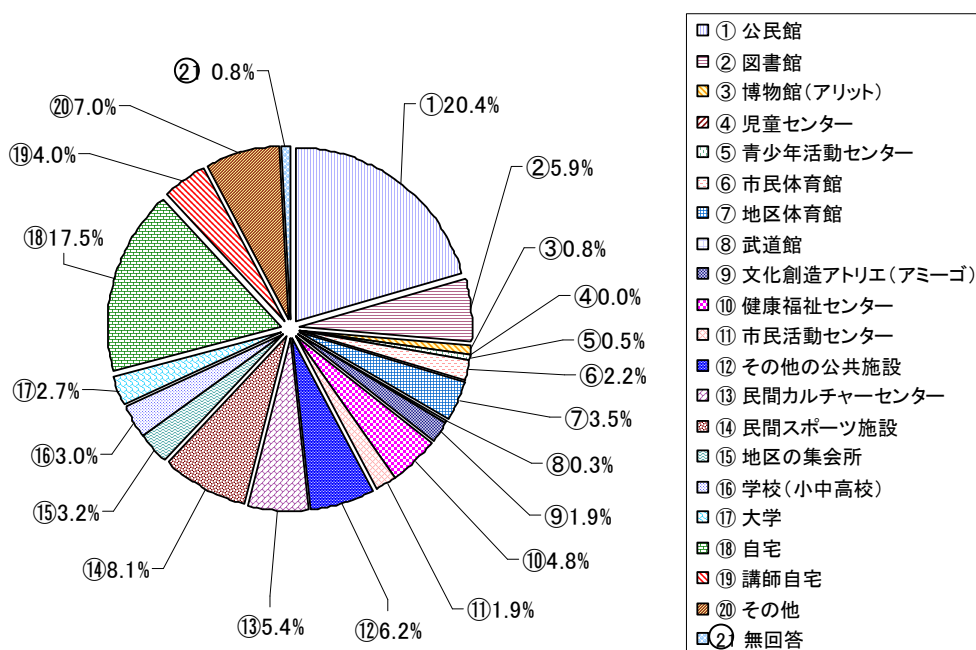
自主的に学習する個人での学習がもっとも多くなっている。次いで公共施設等の講座、公共施設等で活動しているサークルへの参加が上位を占めている。

男女別にみると、男性では「個人での学習・活動」が最も多く、女性では公共施設の講座やサークル活動、民間のカルチャーセンター等に参加する割合が多くなっている。

生涯学習等の主な活動場所について

問7 学習や活動の場所はおもにどんなところですか。次の中から選んでください。（複数回答可）

		集計値	
①	公民館	76	20.4%
②	図書館	22	5.9%
③	博物館(アリット)	3	0.8%
④	児童センター	0	0.0%
⑤	青少年活動センター	2	0.5%
⑥	市民体育館	8	2.2%
⑦	地区体育館	13	3.5%
⑧	武道館	1	0.3%
⑨	文化創造アトリエ(アミーゴ)	7	1.9%
⑩	健康福祉センター	18	4.8%
⑪	市民活動センター	7	1.9%
⑫	その他の公共施設	23	6.2%
⑬	民間カルチャーセンター	20	5.4%
⑭	民間スポーツ施設	30	8.1%
⑮	地区の集会所	12	3.2%
⑯	学校(小中高校)	11	3.0%
⑰	大学	10	2.7%
⑱	自宅	65	17.5%
⑲	講師自宅	15	4.0%
⑳	その他	26	7.0%
㉑	無回答	3	0.8%
計		372	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝372、複数回答可）

	1 公民館	2 図書館	3 博物館	4 児童センター	5 青少年活動センター	6 市民体育館	7 地区体育館	8 武道館	9 文化創造アトリエ	10 健康福祉センター	11 市民活動センター	12 その他公共施設	13 民間カルチャーセンター	14 民間スポーツ施設	15 地区集会所	16 学校（小中高校）	17 大学	18 自宅	19 講師自宅	20 その他公共施設	21 無回答
20代男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
30代男	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	
40代男	1	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	4	1	2	0	7	0	2	
50代男	4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	3	8	0	1	
60代男	5	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	4	1	4	1	1	0	8	0	6	
70代男	4	3	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	2	0	5	0	2	
20代女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
30代女	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	1	0	1	0	2	0	1	
40代女	7	2	0	0	0	0	2	0	3	2	1	3	2	6	0	1	0	9	3	6	
50代女	10	1	0	0	0	0	1	0	0	2	1	5	4	4	0	1	0	5	2	3	
60代女	29	6	0	0	0	1	6	0	3	6	3	3	4	7	2	0	4	10	9	4	
70代女	8	1	1	0	1	0	1	0	0	2	1	2	2	0	3	0	0	4	1	0	
不明	7	1	0	0	1	0	2	0	1	1	0	1	4	1	2	2	2	4	0	1	
計	76	22	3	0	2	8	13	1	7	18	7	23	20	30	12	11	10	65	15	26	

その他回答欄

通勤電車の中、喫茶店など（30女）

屋外（40代男）

会社（40代男・40代女）

県外（40代女）

都内の日本習字学芸本部（40代女）

農村環境改善センター（40代女）

家から家への訪問（40代女）

喫茶店（50代男）

屋外（50代女）

国際フォーラム（有楽町）、都内の講演会場（50代女）

友人の家に講師を招いて（50代女）

レストラン等で1時間程度（60代男）

労働組合事務所（60代男）

環境 フィールド 川、公園、里山（60代男）

地区の運動場（60代男）

屋外（60代男）

保全林（60代男）

近所の高齢者に食事を提供（週3～4日）（60代女）

所属する専門職能団体での研修参加（60代女）

老人ホームのケアセンター（60代女）

屋外（70代男）

加治丘陵、狭山丘陵、秩父、奥多摩など（70代男）

地区のグラウンド（不明）

【データからみた傾向】

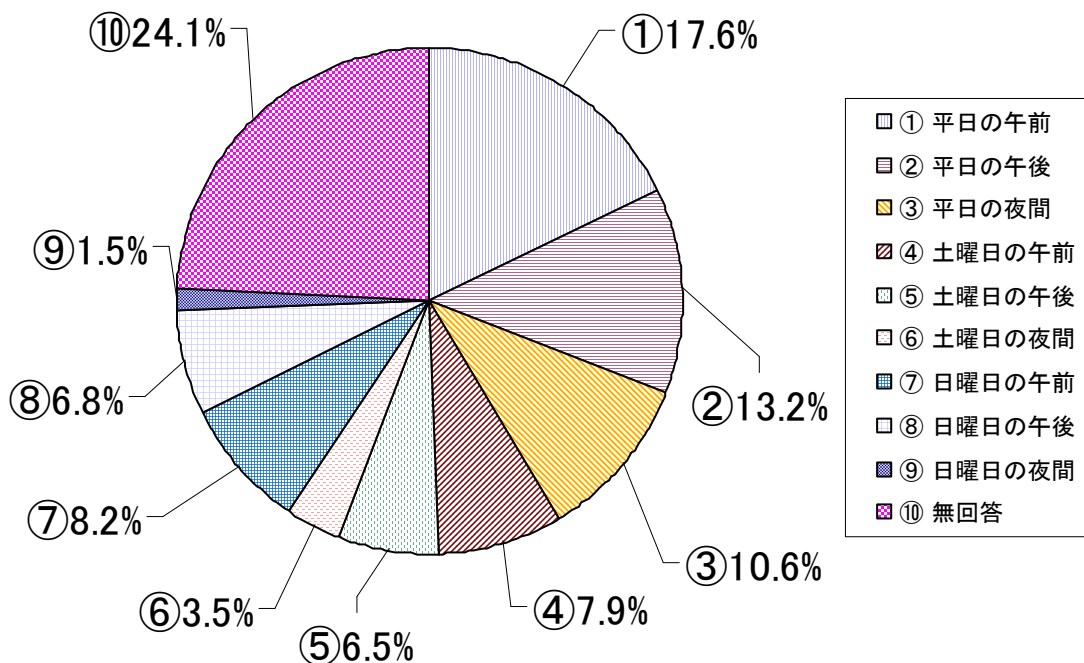
第1位が公民館で、40代以降の各世代で1位を占めており、公民館が市民の学習や活動の基盤となっていることが伺える。第2位が自宅で、自宅の比率が高いことは、問9の結果の見られるように、その成果は個人的な分野に生かしていることに繋がっている。第3位は民間スポーツ施設で、スポーツが生涯学習活動の主要な要素として位置づけられていることがわかる。これらの傾向は男女別の比較でも同様である。

また、「その他」の比率も上位にあるが、その他解答欄に現れているように、設問では捉えきれない多様な活動形態があることを示している。

生涯学習等の主な活動時間帯について

問8 学習や活動をしているおもな時間帯はいつですか（複数回答可）

		集計値	
①	平日の午前	60	17.6%
②	平日の午後	45	13.2%
③	平日の夜間	36	10.6%
④	土曜日の午前	27	7.9%
⑤	土曜日の午後	22	6.5%
⑥	土曜日の夜間	12	3.5%
⑦	日曜日の午前	28	8.2%
⑧	日曜日の午後	23	6.8%
⑨	日曜日の夜間	5	1.5%
⑩	無回答	82	24.1%
計		340	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝340、複数回答可）

	1 平日の午前	2 平日の午後	3 平日の夜間	4 土曜日の午前	5 土曜日の午後	6 土曜日の夜間	7 日曜日の午前	8 日曜日の午後	9 日曜日の夜間	10 無回答
20代男	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
30代男	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
40代男	0	1	4	4	3	3	4	5	1	6
50代男	6	4	2	1	1	1	3	4	0	6
60代男	8	7	6	6	6	1	10	5	0	6
70代男	2	2	1	0	1	0	1	1	0	6
20代女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30代女	1	0	2	0	0	1	0	0	1	2
40代女	6	2	4	2	4	1	1	1	0	14
50代女	8	4	5	5	3	1	4	3	0	8
60代女	18	15	7	5	2	2	2	3	2	19
70代女	5	5	0	0	0	0	0	0	0	7
不明	6	4	4	3	1	1	2	0	0	6
計	60	45	36	27	22	12	28	23	5	82

前回との比較



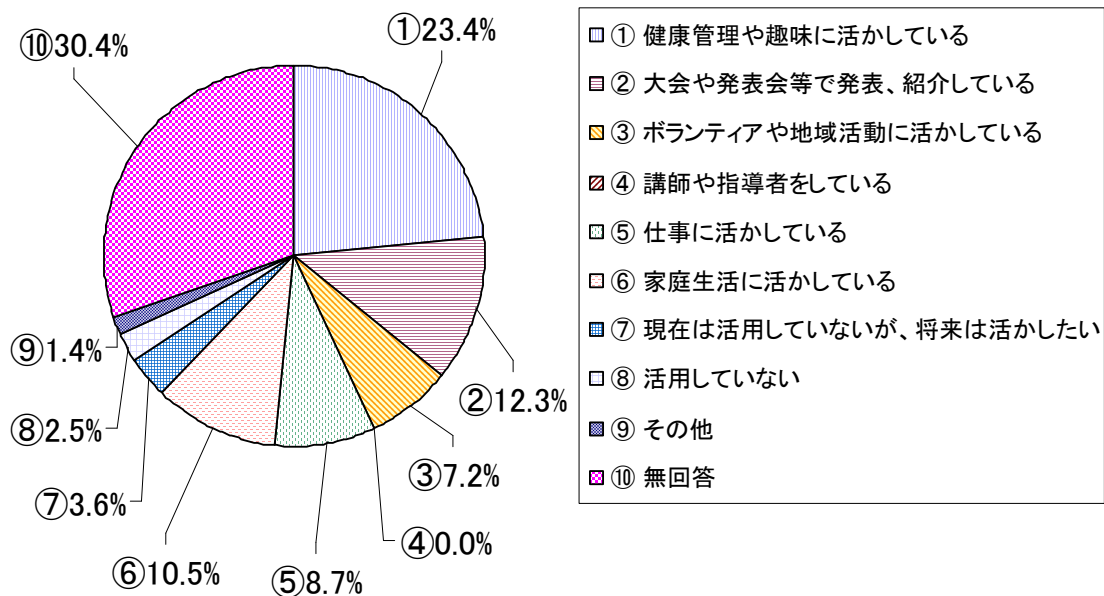
【データからみた傾向】

全体的な特徴としては、女性は年齢層にかかわらず平日に活動する比率が高い。一方男性は、一週間を通して平均的に活動している。前回との比較でみると、全体的に数値が減少し、無回答が大幅に増加している。これは、設問項目が平日、土曜、日曜のみで、毎日のように一週間継続的な活動パターンが示されていなかったことが影響しているかも知れない。

活動成果などの活かし方

問9 学習や活動の成果、何かに活用していますか（複数回答可）

		集計値	
1	健康管理や趣味に活かしている	65	23.4%
2	大会や発表会等で発表、紹介している	34	12.3%
3	ボランティアや地域活動に活かしている	20	7.2%
4	講師や指導者をしている	0	0.0%
5	仕事に活かしている	24	8.7%
6	家庭生活に活かしている	29	10.5%
7	現在は活用していないが、将来は活かしたい	10	3.6%
8	活用していない	7	2.5%
9	その他	4	1.4%
10	無回答	84	30.4%
計		277	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝277、複数回答可）

	1 健康管理や趣味に活かしている	2 大会や発表会等で発表、紹介している	3 ボランティアや地域活動に活かしている	4 講師や指導者をしている	5 仕事に活かしている	6 家庭生活に活かしている	7 現在は活用していないが将来は活かしたい	8 活用していない	9 その他	10 無回答
20代男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30代男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
40代男	5	3	1	0	2	1	2	0	0	6
50代男	6	1	2	0	5	2	1	0	2	7
60代男	8	4	2	0	6	4	0	3	0	6
70代男	2	0	2	0	0	0	0	0	0	6
20代女	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
30代女	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2
40代女	7	4	2	0	1	5	1	1	0	14
50代女	9	5	3	0	4	2	0	1	0	8
60代女	17	10	6	0	3	8	1	1	1	19
70代女	6	2	0	0	1	2	1	1	0	7
不明	2	3	2	0	0	3	3	0	1	6
計	65	34	20	0	24	29	10	7	4	84

その他回答欄

自己研鑽（50代男）

自分の判断力向上のため（60代女）

身についたものは知らずに役に立ってるから（不明）

【データからみた傾向】

「何かに活用している」は、全体の約60%であり、男女共に「健康管理や趣味に活かしている」がトップである。

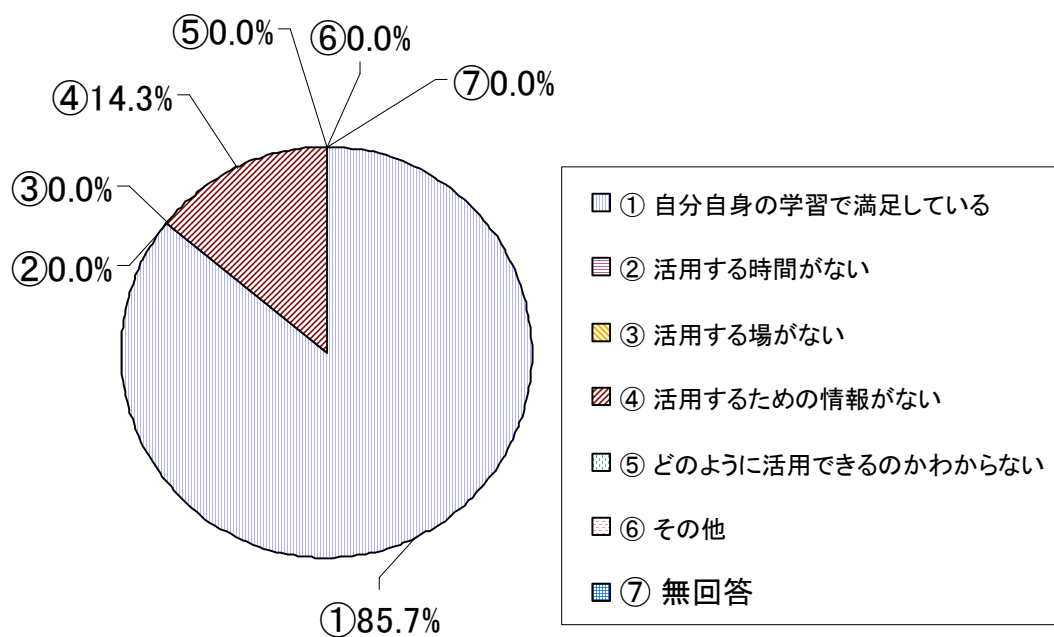
次いで男性は、「仕事に活かしている」が多く、女性は、「大会や発表会等で発表、紹介している」が多い傾向である。

「講師や指導者をしている」という回答は1つもなく、学習成果を活用する場の整備も今後必要なのではないのだろうか。

活動成果を再活用していない理由

問10 問9で「活用していない」と答えた方にうかがいます。その理由は何ですか

		集計値	
1	自分自身の学習で満足している	6	85.7%
2	活用する時間がない	0	0.0%
3	活用する場がない	0	0.0%
4	活用するための情報がない	1	14.3%
5	どのように活用できるのかわからない	0	0.0%
6	その他	0	0.0%
7	無回答	0	0.0%
計		7	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝7）

	1 自分自身の学習で満足している	2 活用する時間がない	3 活用する場がない	4 活用するための情報がない	5 どのように活用できるのかわからない	6 その他	7 無回答
20代男	0	0	0	0	0	0	0
30代男	0	0	0	0	0	0	0
40代男	0	0	0	0	0	0	0
50代男	0	0	0	0	0	0	0
60代男	2	0	0	1	0	0	0
70代男	0	0	0	0	0	0	0
20代女	0	0	0	0	0	0	0
30代女	0	0	0	0	0	0	0
40代女	1	0	0	0	0	0	0
50代女	1	0	0	0	0	0	0
60代女	1	0	0	0	0	0	0
70代女	1	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
計	6	0	0	1	0	0	0

【データからみた傾向】

問9で「活用していない」と答えた方が少数であるので、分析は難しいが、

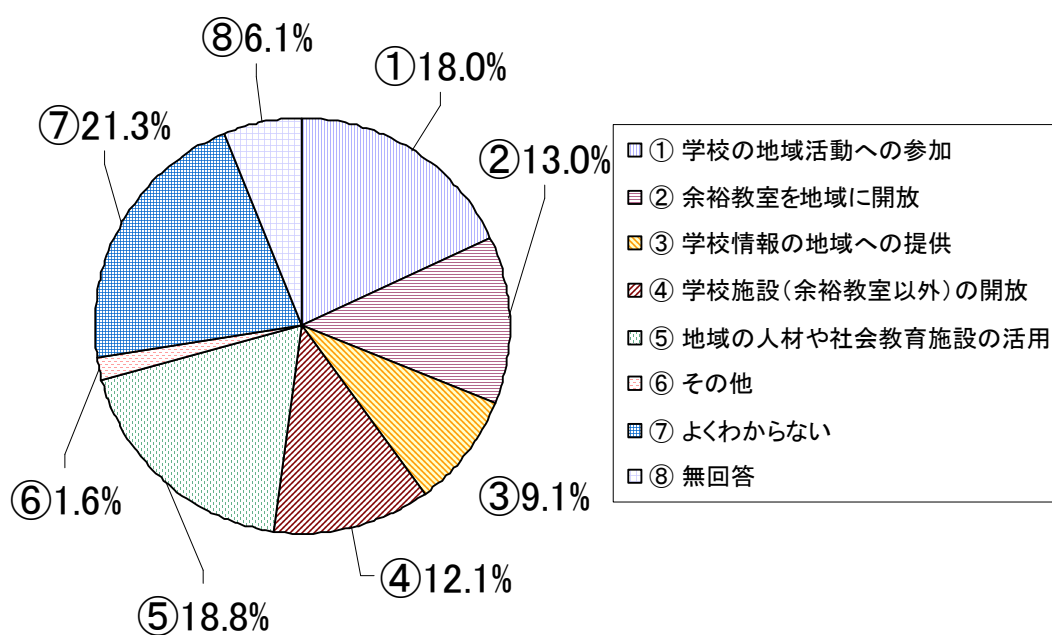
「自分自身の学習で満足している」方が、85%（7サンプル中6サンプル）を占めている。

男女共に満足している傾向であるが、一方で、「活用するための情報がない」という回答もある。今後は、活用するための情報提供も重要な課題である。

開かれた学校づくりについて

問 1 1 小中学校において、地域に開かれた学校づくりに必要と思うことはなんですか

		集計値	
1	学校の地域活動への参加	91	18.0%
2	余裕教室を地域に開放	66	13.0%
3	学校情報の地域への提供	46	9.1%
4	学校施設(余裕教室以外)の開放	61	12.1%
5	地域の人材や社会教育施設の活用	95	18.8%
6	その他	8	1.6%
7	よくわからない	108	21.3%
8	無回答	31	6.1%
計		506	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝506、複数回答可）

	1 学校の地域活動への参加	2 余裕教室を地域に開放	3 学校情報の地域への提供	4 学校施設（余裕教室以外）の開放	5 地域の人材や社会教育施設の活用	6 その他	7 よくわからない	8 無回答
20代男	1	0	0	2	0	0	0	0
30代男	0	0	0	2	0	1	1	0
40代男	7	5	4	9	10	0	7	1
50代男	11	5	3	8	10	2	13	5
60代男	11	11	5	9	12	2	16	1
70代男	6	2	2	2	4	0	7	0
20代女	1	0	1	1	1	0	2	0
30代女	8	1	1	2	4	0	4	0
40代女	11	9	7	8	20	0	12	1
50代女	12	15	7	9	10	0	14	7
60代女	12	8	12	6	15	1	20	8
70代女	3	1	3	0	4	1	3	3
不明	8	9	1	3	5	1	9	5
計	91	66	46	61	95	8	108	31

#### その他回答欄

学校と保護者間、担任と保護者の問題やトラブルをオープンにすること（50代男）

考えたことがない（50代男）

地域性により多様だと思う（60代男）

授業参観と教育委員会への参加（60代男）

校長の資質（60代女）

学校と地域住民の合同した活動（70代女）

子供が大きくなってから引越してきたので親近感がない（不明）

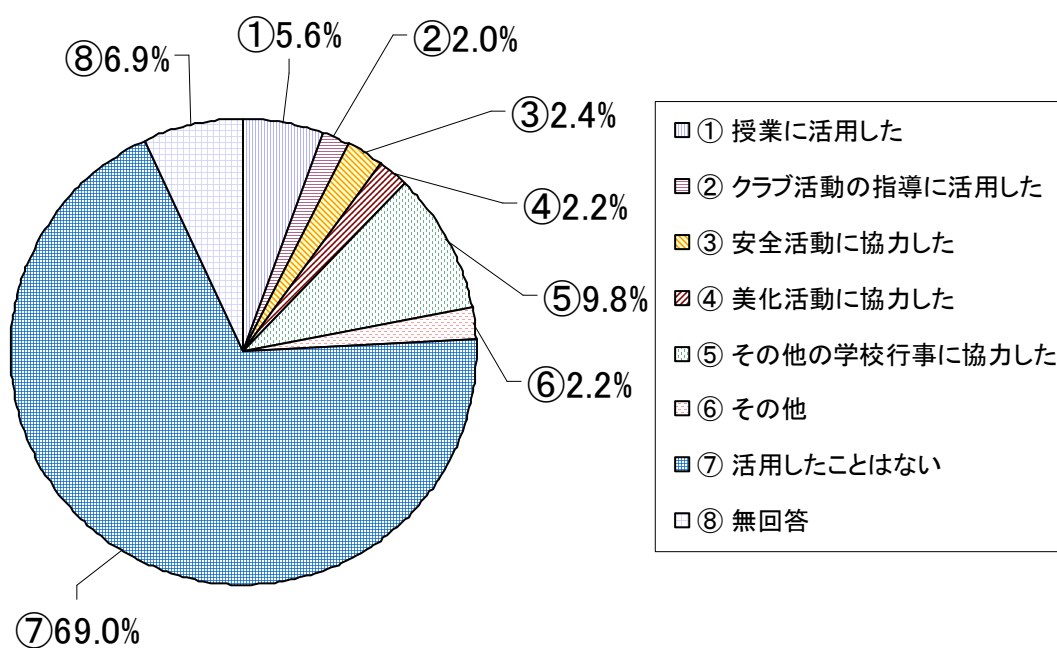
#### 【データからみた傾向】

「学校の地域活動への参加」「地域の人材や社会教育施設の活用」という回答が多く、学校と地域のつながりを増やすことが必要とされている。2つの回答は男女とも40～60代に多く、子どもに係ることが多い世代に集中していることがわかる。

市民の学び等を学校教育に活用することについて

問 1 2 あなたの持つ知識、技術、経験等を学校教育に活用したことがありますか？

		集計値	
1	授業に活用した	26	5.6%
2	クラブ活動の指導に活用した	9	2.0%
3	安全活動に協力した	11	2.4%
4	美化活動に協力した	10	2.2%
5	その他の学校行事に協力した	45	9.8%
6	その他	10	2.2%
7	活用したことはない	318	69.0%
8	無回答	32	6.9%
計		461	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝461、複数回答可）

	1 授業に活用した	2 クラブ活動の指導に活用した	3 安全活動に活用した	4 美化活動に協力した	5 その他の学校行事に協力した	6 その他	7 活用したことはない	8 無回答
20代男	0	0	0	0	1	0	2	0
30代男	0	0	0	0	0	0	4	0
40代男	6	1	1	0	2	0	30	2
50代男	2	0	0	1	5	0	38	6
60代男	4	1	2	0	3	2	46	1
70代男	2	1	0	0	4	0	14	1
20代女	0	0	0	0	1	0	5	0
30代女	0	0	0	0	1	0	13	1
40代女	2	1	2	4	9	1	36	2
50代女	4	2	2	1	7	2	42	6
60代女	5	2	3	2	7	2	48	10
70代女	1	1	0	1	2	0	12	1
不明	0	0	1	1	3	3	28	2
計	26	9	11	10	45	10	318	32

#### その他回答欄

図書室の指導（50代女）  
 図書ボランティア（50代女）  
 最近はないが前職のときはあった（60代男）  
 民間の教育機関で活用した（60代男）  
 地域活動に協力した（60代女）  
 読み聞かせ（60代女）  
 地区文化祭で手作り品指導（不明）  
 ミナス原油（重油産地名）をサンプル提供した（不明）  
 昔の遊びを教えた（不明）

#### 【データからみた傾向】

「活用したことはない」が全体の約7割を占める。

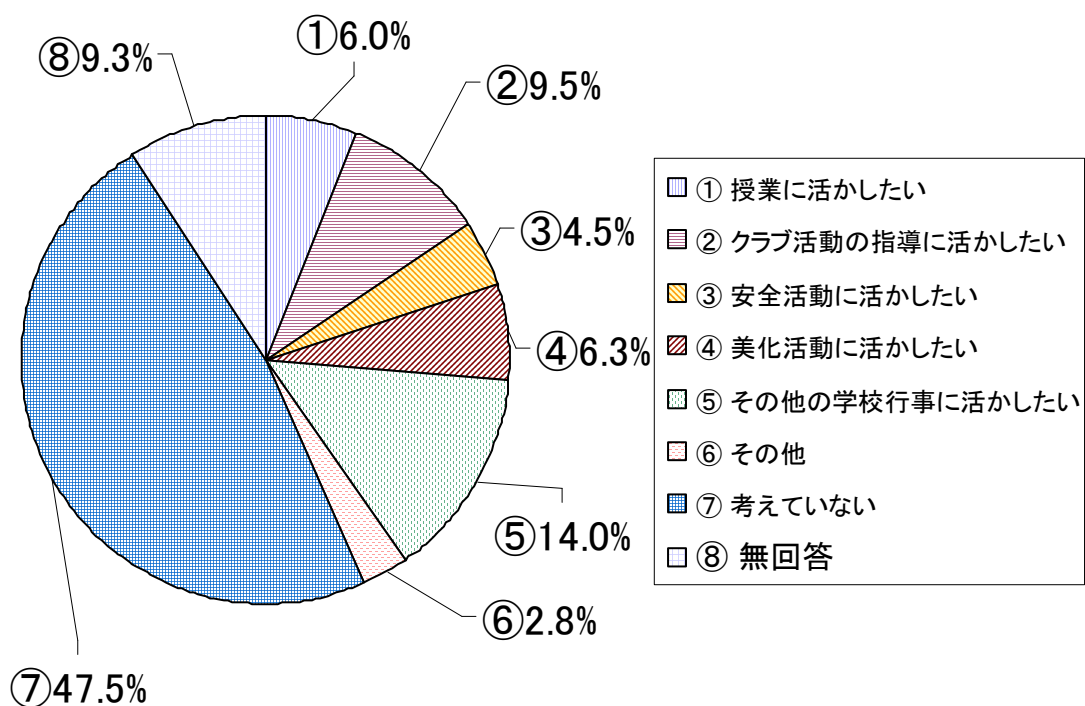
学校教育に活用した内容は、全体では「その他の学校行事に協力した」がトップであり、次いで「授業に活用した」「安全活動に協力した」と続く。

また、「その他の学校行事に協力した」は、40～70代の女性に多い。

学校教育に活用できる市民の学び等について

問 1 3 あなたの持つ知識、技術、経験等を学校教育に活かすとしたら何ができますか？

		集計値	
1	授業に活かしたい	28	6.0%
2	クラブ活動の指導に活かしたい	44	9.5%
3	安全活動に活かしたい	21	4.5%
4	美化活動に活かしたい	29	6.3%
5	その他の学校行事に活かしたい	65	14.0%
6	その他	13	2.8%
7	考えていない	220	47.5%
8	無回答	43	9.3%
計		463	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝463、複数回答可）

	1 授業に活かしたい	2 クラブ活動の指導に活かしたい	3 安全活動に活かしたい	4 美化活動に活かしたい	5 その他の学校行事に活かしたい	6 その他	7 考えていない	8 無回答
20代男	0	1	0	0	1	0	1	0
30代男	0	1	0	0	0	0	3	0
40代男	5	2	2	3	6	0	18	5
50代男	1	5	3	3	9	1	22	8
60代男	8	7	3	4	7	2	30	1
70代男	2	2	1	0	4	3	12	0
20代女	0	1	1	1	1	0	2	0
30代女	0	1	0	2	4	0	8	0
40代女	2	6	4	4	13	2	25	2
50代女	3	8	3	2	6	1	32	9
60代女	4	8	0	5	7	3	38	12
70代女	1	1	1	2	5	0	8	0
不明	2	1	3	3	2	1	21	6
計	28	44	21	29	65	13	220	43

### その他回答欄

今考えつかない（50代男）  
 図書館関係、児童の支援（50代女）  
 父兄としての教育活動への参加観（60代男）  
 情報システムの構築のあり方（60代男）  
 観光バスガイド歴8年、何かの役に立ちたい（60代女）  
 活用する自信はありません（60代女）  
 日本語教育を必要とする在日外国人の支援（60代女）  
 もうその歳ではない（70代男）  
 何が出来るかわからない（70代男）  
 教科指導・補習（不明）

### 【データからみた傾向】

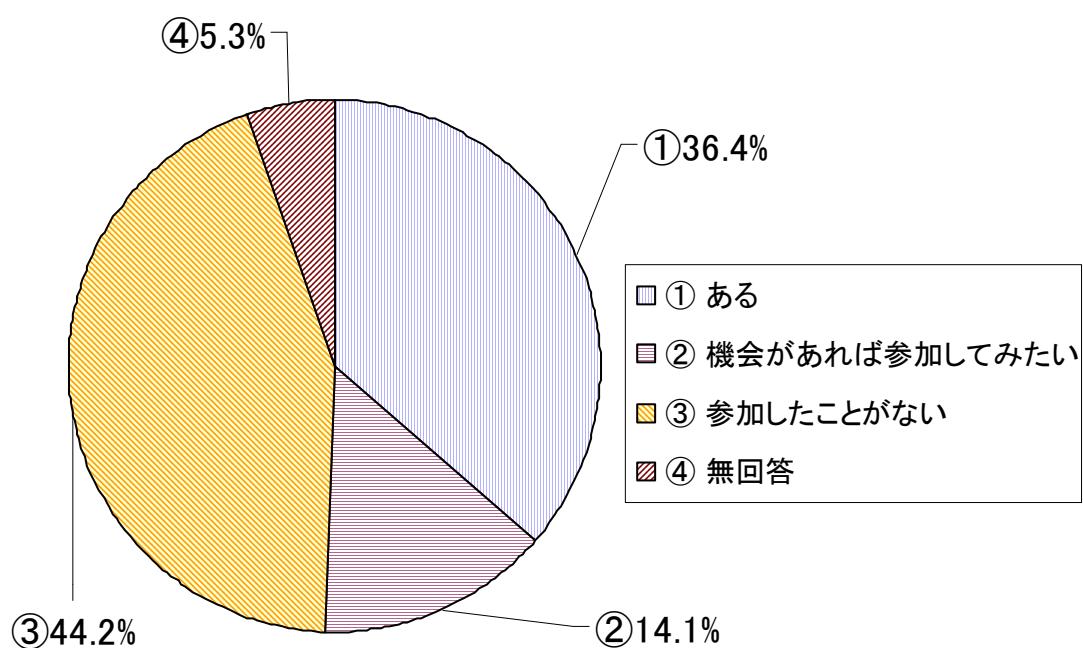
約半数の回答者が「考えていない」であるが、約30%の人が「その他の学校行事に活かしたい」「クラブ活動の指導に活かしたい」「授業に活かしたい」と答えており、なんらかの形で活かしたいと考えているのがわかる。

男女別には、ほぼ同数であるが女性は「その他の学校行事に活かしたい」「クラブ活動の指導に活かしたい」との回答が多く、男性は「授業に活かしたい」が多くなっている。

ボランティア活動の経験

問 1 4 ボランティア活動に参加したことがありますか？

		集計値	
1	ある	165	36.4%
2	機会があれば参加してみたい	64	14.1%
3	参加したことがない	200	44.2%
4	無回答	24	5.3%
計		453	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数=453）

	1 ある	2 機会があれば参加してみたい	3 参加したことがない	4 無回答
20代男	1	0	2	0
30代男	1	0	3	0
40代男	11	6	23	0
50代男	15	5	29	3
60代男	23	9	23	4
70代男	6	2	13	1
20代女	3	1	2	0
30代女	6	1	8	0
40代女	16	10	30	0
50代女	24	11	22	6
60代女	40	8	25	4
70代女	8	2	7	1
不明	11	9	13	5
計	165	64	200	24

【データからみた傾向】

ボランティア活動の参加に前向きな人（「参加したことがある」と「機会があれば参加したい」に回答したサンプル数）は、50.5%、参加したことがない人は、44%だが無回答の人を加えると参加の有無はほぼ半々となっている。

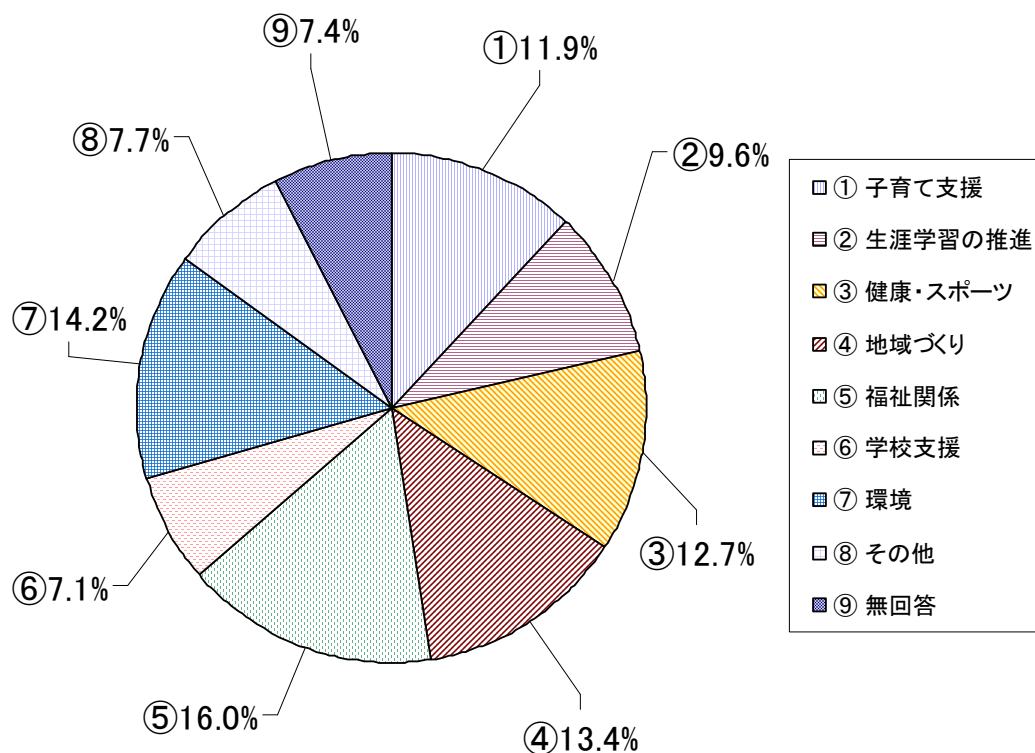
ボランティア活動の参加に前向きな回答をしたサンプル数を見ると、女性が男性のほぼ倍となっており「参加したことがない」回答に関しては男女ほぼ同じである。

参加したことがないとする理由や背景については、今回の調査では触れていないので不明である。

ボランティア活動に活用できる市民の学び他

問15 ボランティアとしてあなたの知識や技術を提供するとしたらどのようなことですか？

		計	
1	子育て支援	77	11.9%
2	生涯学習の推進	62	9.6%
3	健康・スポーツ	82	12.7%
4	地域づくり	87	13.4%
5	福祉関係	104	16.0%
6	学校支援	46	7.1%
7	環境	92	14.2%
8	その他	50	7.7%
9	無回答	48	7.4%
計		648	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝648、複数回答可）

	1 子育て支援	2 生涯学習の推進	3 健康・スポーツ	4 地域づくり	5 福祉関係	6 学校支援	7 環境	8 その他	9 無回答
20代男	0	0	3	0	0	0	1	0	0
30代男	0	0	1	2	0	0	2	1	0
40代男	2	10	10	12	3	3	7	4	1
50代男	3	8	10	12	10	8	9	6	6
60代男	7	9	13	17	15	8	18	7	6
70代男	2	4	6	5	3	2	3	1	5
20代女	1	0	0	2	1	0	1	2	0
30代女	5	1	1	3	4	1	3	3	1
40代女	11	9	11	11	13	8	11	8	2
50代女	12	7	8	8	18	5	15	5	7
60代女	21	8	12	8	26	5	11	7	8
70代女	4	2	3	0	3	4	2	1	5
不明	9	4	4	6	8	3	9	5	7
計	77	62	82	86	104	47	92	50	48

#### その他回答欄

- 役立つなら何でも（20代女）
- ホームヘルパー（20代女）
- 体調が悪いため出来ない（30代女）
- 動物愛護（30代女・70代男）
- よくわからない（30代女・40代女）
- 特定の趣味（40代男）
- コンピュータ関係（40代男）
- 防犯（40代男）
- 聖書教育活動（40代男）
- 活用できない気がする（40代女）
- 特に思い当たらない（40代女）
- 今は考えられない（40代女）
- 特に知識や技術がないので何の役に立てるかわからない（40代女）
- ボランティア活動が好きでない（40代女）
- マンション管理相談等（50代男）
- 朗読（50代男）
- 情報システムの分析（50代男）
- なし（60代女・60代男・50代男）
- 提供するほどの知識はない（50代女）
- 文化活動（文芸・美術等）（50代女）
- 強制や何か得るものが見えないならば提供するつもりはない（50代女）
- 音楽（50代女・60代男）
- 生活で余裕ない（60代男）
- 青少年育成（60代男）
- 税金のムダ使いのチェック指導（60代男）
- 普段の会話から少しづつ人間関係を作り
- 信頼関係をも築く（60代女）
- 経済・金融のこと（60代女）
- 日本語教育（70代女）
- 安全活動（不明）
- 書道の指導（不明）
- 高齢並びに体調不良で無理（不明）
- 単身老人世帯の話し相手（不明）

#### 【データからみた傾向】

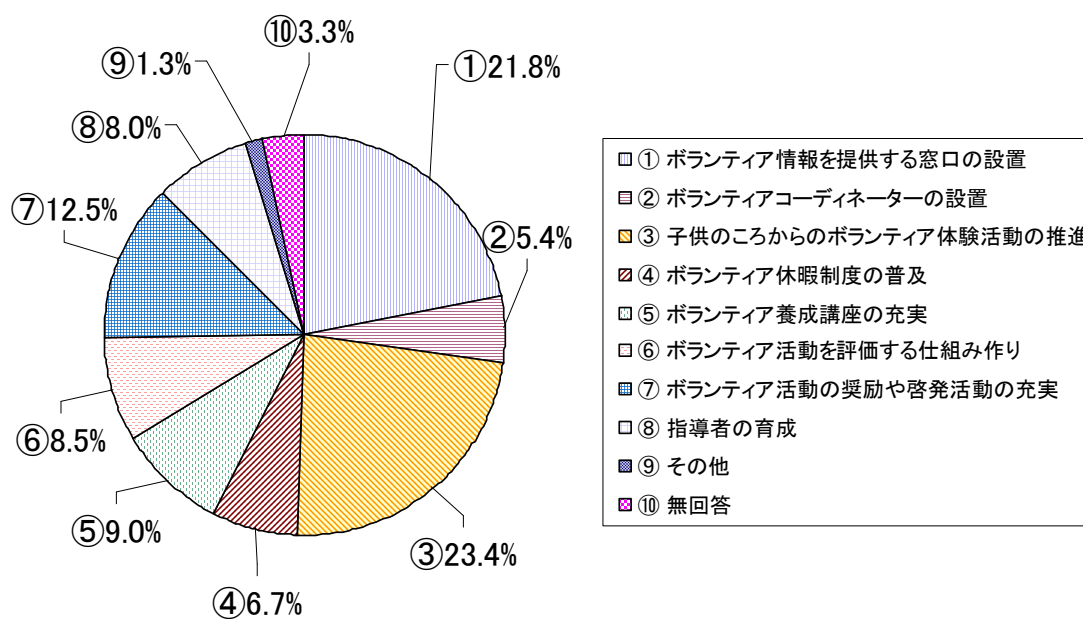
知恵や技術の提供先として、「福祉関係」が多く、次いで「環境」「地域づくり」「健康・スポーツ」「子育て支援」と続き、生活に身近な事柄に提供していきたいという傾向がみられた。

また、その他の中には、仕事や趣味で得た特定の知識や技術、安全安心なまちづくりのものもあり、活動の幅広さがうかがえる。

ボランティア活動を盛んにするには

問16 市民のボランティア活動を盛んにするために、特にどのような点に力をいれたらよいと思いますか？（2つ選んでください）

		集計値	
1	ボランティア情報を提供する窓口の設置	185	21.8%
2	ボランティアコーディネーターの設置	46	5.4%
3	子供のころからのボランティア体験活動の推進	198	23.4%
4	ボランティア休暇制度の普及	57	6.7%
5	ボランティア養成講座の充実	76	9.0%
6	ボランティア活動を評価する仕組み作り	72	8.5%
7	ボランティア活動の奨励や啓発活動の充実	106	12.5%
8	指導者の育成	68	8.0%
9	その他	11	1.3%
10	無回答	28	3.3%
計		847	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝847、2つ選択し回答）

	1 ボランティア情報を提供する窓口の設置	2 ボランティアコーディネーターの設置	3 子どもころからのボランティア体験活動の推進	4 ボランティア休暇制度の普及	5 ボランティア養成講座の充実	6 ボランティア活動を評価する仕組み作り	7 ボランティア活動の奨励や啓発活動の充実	8 指導者の育成	9 その他	10 無回答
20代男	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0
30代男	1	0	0	1	1	2	0	0	0	1
40代男	13	4	16	8	6	12	7	7	0	1
50代男	14	8	27	6	7	7	18	5	1	3
60代男	28	6	20	11	7	7	12	9	3	4
70代男	8	0	8	2	3	3	8	3	0	2
20代女	2	0	3	2	0	2	1	0	0	0
30代女	10	2	5	2	0	4	2	2	1	1
40代女	26	7	27	7	9	7	18	10	3	0
50代女	25	7	34	3	17	6	9	14	1	2
60代女	35	8	36	8	16	15	16	11	1	5
70代女	6	2	9	0	2	2	3	1	0	4
不明	14	2	12	7	8	5	11	6	1	5
計	185	46	198	57	76	72	106	68	11	28

その他回答欄

よくわからない（30代女・50代男・60代女）  
 気軽にできるよう、第一歩のきっかけ作り（40代女）  
 地域のサークル等の横のつながり（40代女）  
 「ボランティア＝無償」とする意識の見直し（50代女）  
 住みよい地域を作るために欠けているものを充実させるボランティアを作って欲しい（60代男）  
 行政側との連携（不明）

【データからみた傾向】

「子供ころからのボランティア体験活動の推進」「ボランティア情報を提供する窓口の設置」「ボランティア活動の奨励や啓発活動の充実」を合計すると全体の過半数（約57.7%）を超えており、男女とも同じ傾向である。

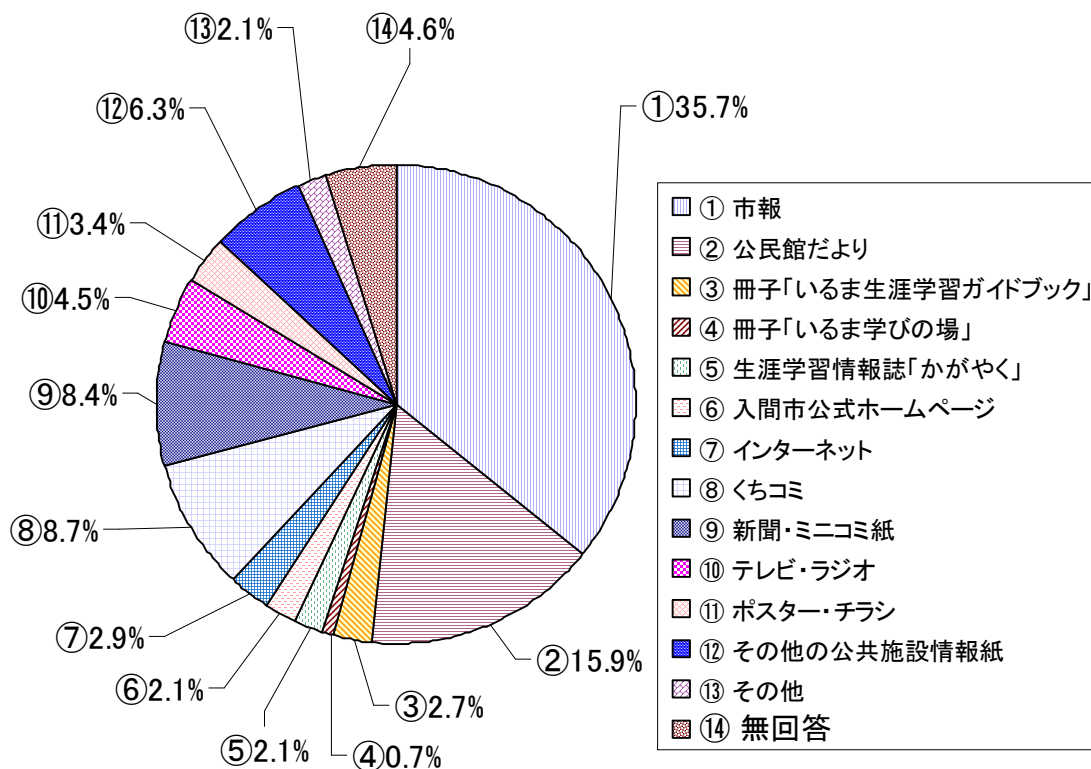
また、上記の意見については、40～60代が約70%を占めている。

今後は、ボランティア活動が気軽にできるきっかけ作りや地域のサークルや行政との連携及びボランティア活動を無償とする意識の見直しも必要である。

学習、活動情報の入手方法

問 1 7 学習や活動に関する情報はどのような方法で入手していますか？  
(複数回答可)

		計	
1	市報	308	35.7%
2	公民館だより	137	15.9%
3	冊子「いるま生涯学習ガイドブック」	23	2.7%
4	冊子「いるま学びの場」	6	0.7%
5	生涯学習情報誌「かがやく」	18	2.1%
6	入間市公式ホームページ	18	2.1%
7	インターネット	25	2.9%
8	くちコミ	75	8.7%
9	新聞・ミニコミ紙	72	8.4%
10	テレビ・ラジオ	39	4.5%
11	ポスター・チラシ	29	3.4%
12	その他の公共施設情報紙	54	6.3%
13	その他	18	2.1%
14	無回答	40	4.6%
計		862	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝862、複数回答可）

	1 市報	2 公民館だより	3 冊子いるま生涯学習ガイドブック	4 冊子いるま学びの場	5 生涯学習情報紙かがやく	6 入間市公式HP	7 インターネット	8 くちコミ	9 新聞・ミニコミ紙	10 テレビ・ラジオ	11 ポスター・チラシ	12 その他の公共施設情報紙	13 その他	14 無回答
20代男	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
30代男	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1
40代男	25	12	4	0	2	1	4	3	5	5	3	3	2	2
50代男	34	7	2	1	1	3	3	6	10	5	2	3	2	7
60代男	40	20	4	1	3	3	5	11	12	7	3	10	1	6
70代男	16	8	0	1	2	1	0	3	2	2	0	2	0	2
20代女	2	0	0	0	0	0	2	1	0	1	2	0	1	0
30代女	10	1	1	0	0	0	1	6	4	2	1	2	1	1
40代女	41	13	3	2	2	4	3	10	7	2	5	7	6	3
50代女	47	22	2	1	3	1	1	14	15	4	4	8	2	3
60代女	53	30	4	0	2	1	0	11	11	4	6	10	2	9
70代女	12	7	1	0	1	2	2	3	1	1	2	4	1	1
不明	25	16	2	0	2	2	2	7	3	5	1	5	0	5
計	308	137	23	6	18	18	25	75	72	39	29	54	18	40

### その他回答欄

まったく入手していない（20代女）  
 情報を得たいと思ったことがない（30代女）  
 クリスマン会衆から（40代男）  
 入間市の生涯学習についての情報は知りません（40代男）  
 職場（40代女）  
 会社の冊子（40代女）  
 ない（40代女）  
 回覧板（40代女・70代女）

会社からの情報（50代男）  
 自分で大学へ出かける（50代女）  
 興味がないので入手しない（50代女）  
 専門職能団体からの情報（60代男）  
 情報が届かない（60代女）  
 書店（60代女）

### 【データからみた傾向】

情報の入手先については、「市報」続いて「公民館だより」の順で多かった。

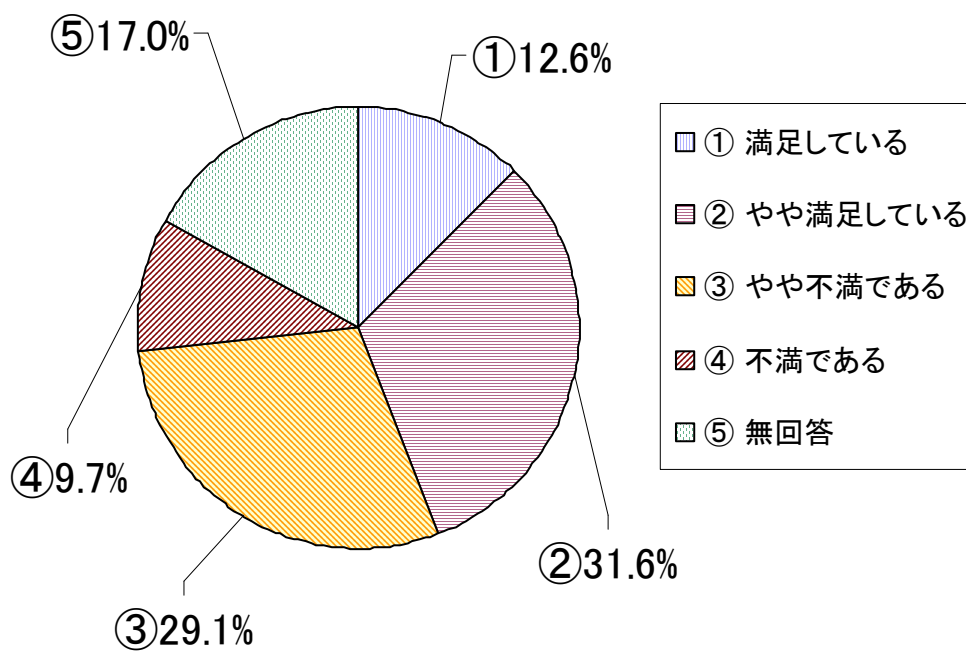
また、前回と比べ「くちコミ」の回答割合が倍以上増え、「新聞・ミニコミ紙」を上回っているという結果となった。

男女別、年齢別については、特徴的な数値の差はなかった。

情報提供の満足度

問 1 8 現在の生涯学習情報の提供に満足していますか

		集計値	
①	満足している	57	12.6%
②	やや満足している	143	31.6%
③	やや不満である	132	29.1%
④	不満である	44	9.7%
⑤	無回答	77	17.0%
計		453	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数=453）

	1 満足している	2 やや満足している	3 やや不満である	4 不満である	5 無回答
20代男	0	0	2	1	0
30代男	1	2	0	0	1
40代男	7	12	10	6	5
50代男	6	12	18	7	9
60代男	2	18	20	8	11
70代男	5	6	6	4	1
20代女	0	3	1	0	2
30代女	1	5	5	2	2
40代女	5	18	22	3	8
50代女	9	28	13	7	6
60代女	9	26	21	4	17
70代女	4	6	5	0	3
不明	8	7	9	2	12
計	57	143	132	44	77

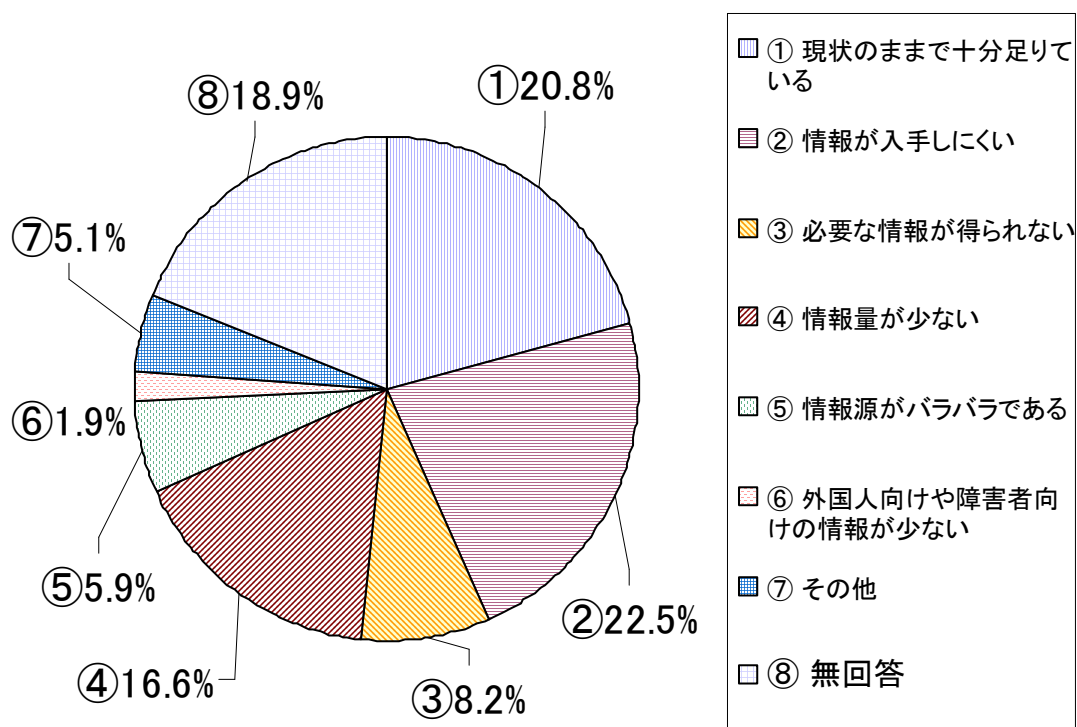
【データからみた傾向】

「満足している」「やや満足している」を合わせ 44%、「やや不満である」「不満である」を合わせ 38%となり、満足している意見がやや上回った。また男女の比較においてもほぼ同様な傾向を示している。

情報提供の満足度の理由

問 1 9 その理由はなんですか？（問 1 8 で回答した理由は）

		集計値	
1	現状のままで十分足りている	99	20.8%
2	情報が入手しにくい	107	22.5%
3	必要な情報が得られない	39	8.2%
4	情報量が少ない	79	16.6%
5	情報源がバラバラである	28	5.9%
6	外国人向けや障害者向けの情報が少ない	9	1.9%
7	その他	24	5.1%
8	無回答	90	18.9%
計		475	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝475、複数回答可）

	1 いる 現状のままで十分足りて	2 情報が入手しにくい	3 必要な情報が得られない	4 情報量が少ない	5 情報源がバラバラである	6 外国人向けや障がい者向けの情報が少ない	7 その他	8 無回答
20代男	1	1	0	0	1	0	0	0
30代男	0	0	0	3	0	0	1	0
40代男	6	14	4	11	1	0	2	4
50代男	15	11	4	9	2	1	2	9
60代男	8	10	8	13	5	1	4	12
70代男	8	5	3	0	3	0	0	3
20代女	3	1	0	0	0	1	0	1
30代女	3	7	2	2	4	0	1	0
40代女	11	14	7	9	3	5	3	7
50代女	18	17	2	13	4	1	1	12
60代女	15	11	5	12	5	0	5	25
70代女	6	3	0	3	0	0	2	5
不明	5	13	4	4	0	0	3	12
計	99	107	39	79	28	9	24	90

#### その他回答欄

個人的に必要なない（30代男）  
 立派な冊子でなくてもよいので一覧表が欲しい（30代女）  
 情報を入手しようとしていない（40代男）  
 もっと時間が欲しい（40代女）  
 わからない（40代男・70代女）  
 インターネットから情報入手を行っていないため（50代男）  
 感心がないため、もっとわかるように（50代男）  
 回覧板で回ってくる公民館だよりが期日を過ぎている場合が多い（50代女）  
 学習を通じて行政の問題点を変えることが出来ない（60代男）  
 特に確認した事がない（60代男）  
 自分でさがす（60代男）  
 特別興味がない（60代女・60代男）  
 必要性を感じない（60代女）  
 情報は自分が選択するものなので…（60代女）  
 興味をそそられる様な内容になっていない（60代女）  
 CATVをもっと活用したらどうか（不明）  
 今は余裕がなく意識が向いていないので情報も受身に終わっている（不明）  
 情報が整理されていない（不明）

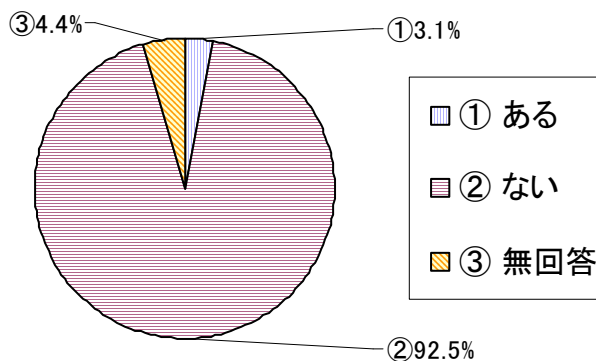
#### 【データからみた傾向】

「満足している」は約20%であった。しかし、理由として最も多くあげられたのは、「情報が入手しにくい」という事であった。

生涯学習相談の経験

問 2 0 生涯学習に関する相談をしたことがありますか？

		集計値	
1	ある	14	3.1%
2	ない	419	92.5%
3	無回答	20	4.4%
計		453	100.0%



生涯学習相談の場所

問 2 1 問 2 0 で「ある」と回答された方にうかがいます。どこに相談しましたか

		集計値	
1	公民館	8	44.4%
2	図書館	1	5.6%
3	博物館(アリット)	1	5.6%
4	児童センター	1	5.6%
5	青少年活動センター	0	0.0%
6	体育館・武道館	3	16.7%
7	市民会館・産業文化センター	1	5.6%
8	文化創造アトリエ(アミーゴ)	0	0.0%
9	市民活動センター	0	0.0%
10	市役所・支所	2	11.1%
11	小中学校	0	0.0%
12	大学	0	0.0%
13	その他	1	5.6%
14	無回答	0	0.0%
計		18	100.0%

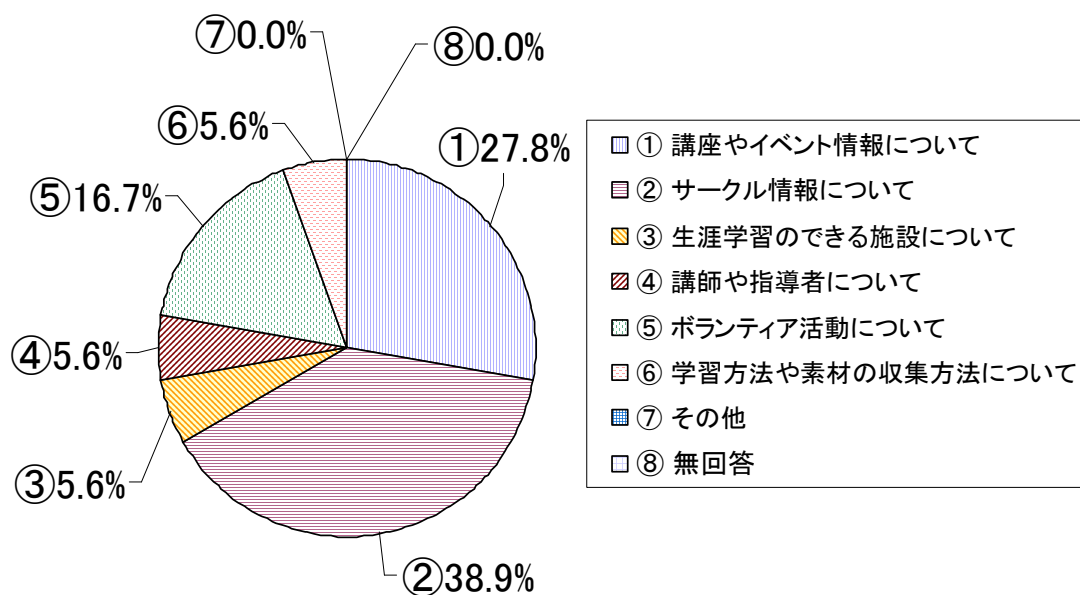
その他回答欄

県立高校、専門学校 (60女)

生涯学習相談の内容

問 2 2 相談の内容はどんな事でしたか？

		集計値	
1	講座やイベント情報について	5	27.8%
2	サークル情報について	7	38.9%
3	生涯学習のできる施設について	1	5.6%
4	講師や指導者について	1	5.6%
5	ボランティア活動について	3	16.7%
6	学習方法や素材の収集方法について	1	5.6%
7	その他	0	0.0%
8	無回答	0	0.0%
計		18	100.0%



【データからみた傾向】

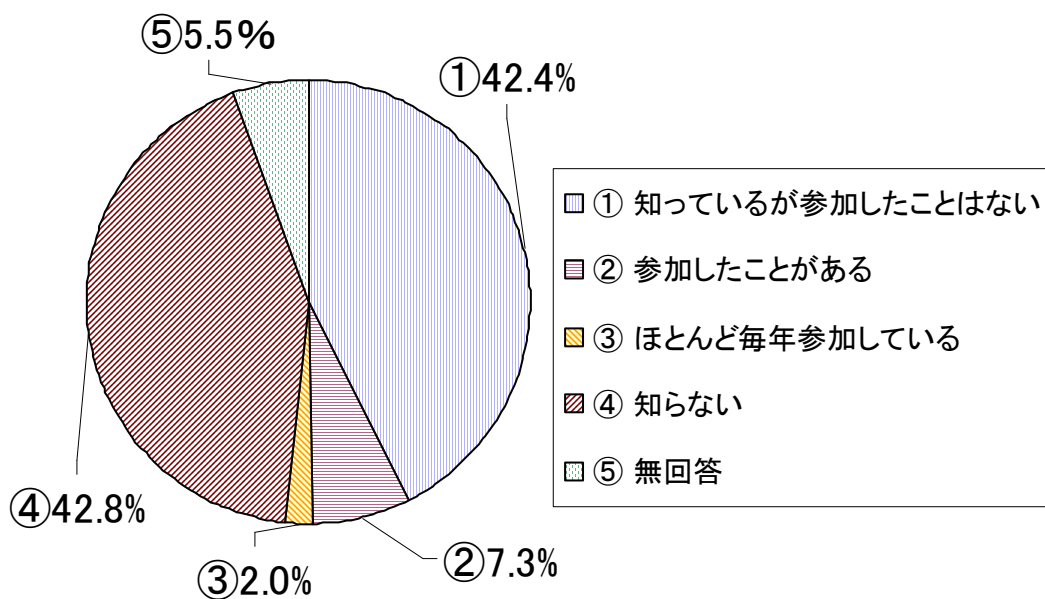
前回の調査では「生涯学習情報等についての常設の相談窓口を市役所等に開設した場合、利用しますか」の問いに「利用する」(11%)、「機会があれば利用する」(33%)

「便利な場所にあれば利用する」(21%) というように全体の約6割が利用するとの回答であったが、今回の結果では生涯学習に関する相談をしたことがある方は、3%という結果であった。

フェスティバルの認知度

問 2 3 いるま生涯学習フェスティバルをご存知ですか？

		集計値	
1	知っているが参加したことはない	192	42.4%
2	参加したことがある	33	7.3%
3	ほとんど毎年参加している	9	2.0%
4	知らない	194	42.8%
5	無回答	25	5.5%
計		453	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数＝453）

	1 知っているが参加したことはない	2 参加したことがある	3 ほとんど毎年参加している	4 知らない	5 無回答
20代男	2	0	0	1	0
30代男	0	0	0	4	0
40代男	12	2	1	22	3
50代男	15	2	0	33	2
60代男	22	6	2	26	3
70代男	10	1	1	10	0
20代女	1	0	0	4	1
30代女	5	0	0	9	1
40代女	27	5	1	21	2
50代女	33	7	1	20	2
60代女	39	6	1	27	4
70代女	9	2	2	4	1
不明	17	2	0	13	6
計	192	33	9	194	25

【データからみた傾向】

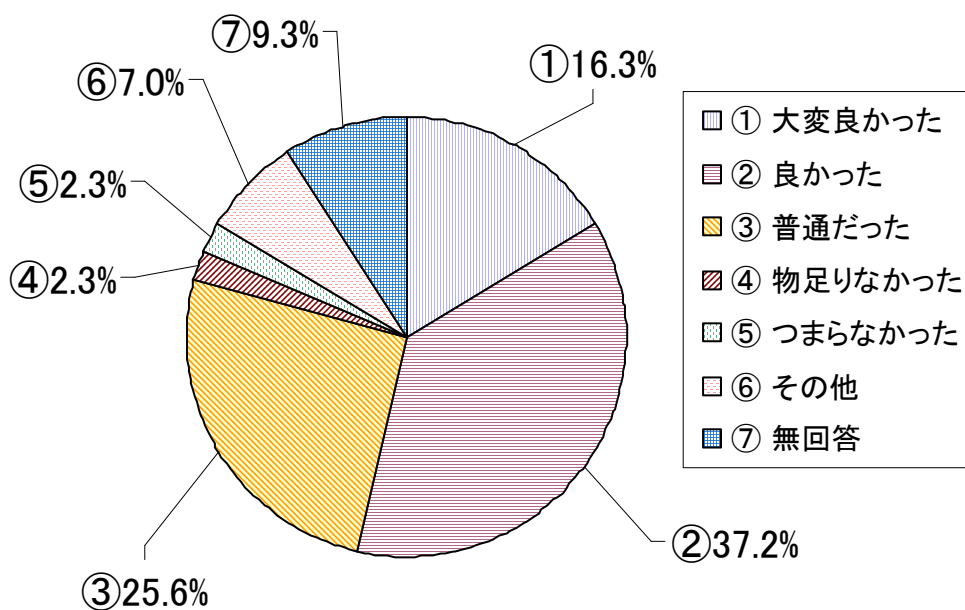
「知っているが参加したことはない」が45%、「参加したことがある」が8%、「ほとんど毎回参加している」が2%となっており、この3つの回答を合計すると55%の方が生涯学習フェスティバルを知っていることになる。

前回の調査では34%が「知っている」という回答であったため、比較すると21ポイントも上回った結果となった。

フェスティバルの感想

問 2 4 ご感想はいかがでしたか？

		集計値	
①	大変良かった	7	16.3%
②	良かった	16	37.2%
③	普通だった	11	25.6%
④	物足りなかった	1	2.3%
⑤	つまらなかった	1	2.3%
⑥	その他	3	7.0%
⑦	無回答	4	9.3%
計		43	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数=43）

	1 大変良かった	2 良かった	3 普通だった	4 物足りなかった	5 つまらなかった	6 その他	7 無回答
20代男	0	0	0	0	0	0	0
30代男	0	0	0	0	0	0	0
40代男	1	0	1	0	0	0	1
50代男	0	1	1	0	0	0	0
60代男	2	1	3	0	0	0	2
70代男	1	1	0	0	0	0	0
20代女	0	0	0	0	0	0	0
30代女	0	0	0	0	0	0	0
40代女	0	2	1	0	1	2	0
50代女	0	5	3	0	0	0	0
60代女	2	4	0	0	0	1	1
70代女	1	1	1	1	0	0	0
不明	0	1	1	0	0	0	0
計	7	16	11	1	1	3	4

#### その他回答欄

本の一部をコピーした様な物を受け取ったが、身近に置けるものがあると良い（40代女）

仕事で参加したのではないようはわからなかった（40代女）

テーマはあるが個々にやっていてまとまりがない（60代女）

#### 【データからみた傾向】

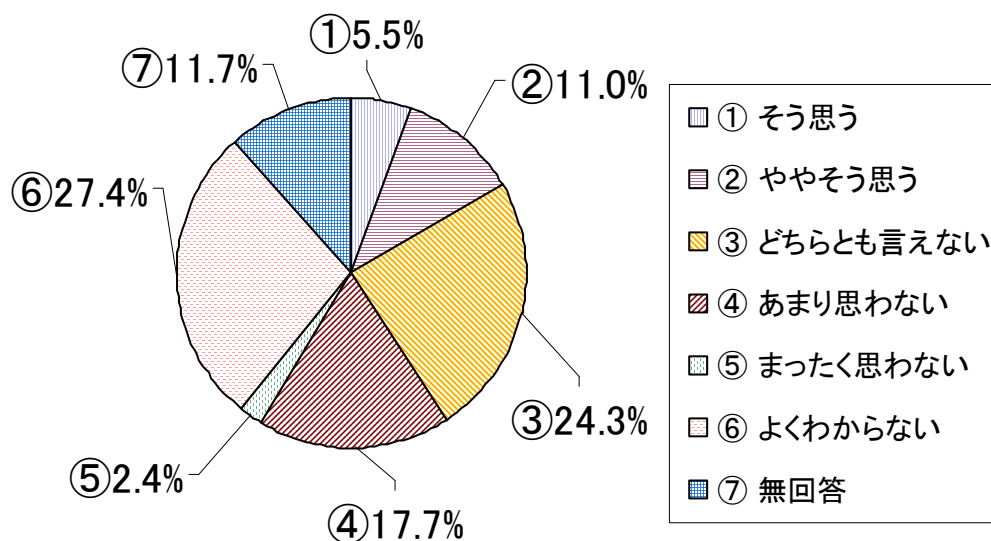
参加来場した方は回答者の約1割であるが、その6割の方が満足されている結果となった。

前回と比較すると「大変良かった」が11ポイント増加、「良かった」が12ポイント減少し、合計では1ポイント減少という結果であった。

学習活動等の環境整備

問 2 5 入間市は、誰もが学習や文化活動に参加しやすい環境だと思いますか？

		集計値	
1	そう思う	25	5.5%
2	ややそう思う	50	11.0%
3	どちらとも言えない	110	24.3%
4	あまり思わない	80	17.7%
5	まったく思わない	11	2.4%
6	よくわからない	124	27.4%
7	無回答	53	11.7%
計		453	100.0%



年代・男女別集計表（件数：総数=453）

	1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらとも言えない	4 あまり思わない	5 まったく思わない	6 よくわからない	7 無回答
20代男	0	0	0	2	1	0	0
30代男	1	0	1	0	1	1	0
40代男	2	3	7	10	2	15	1
50代男	4	2	12	7	0	20	7
60代男	3	8	18	9	2	15	4
70代男	3	3	2	6	0	8	0
20代女	1	0	1	1	0	3	0
30代女	0	3	1	6	1	4	0
40代女	0	4	21	9	1	19	2
50代女	3	9	17	12	2	12	8
60代女	4	14	18	11	0	17	13
70代女	2	1	5	5	1	3	1
不明	2	3	7	2	0	7	17
計	25	50	110	80	11	124	53

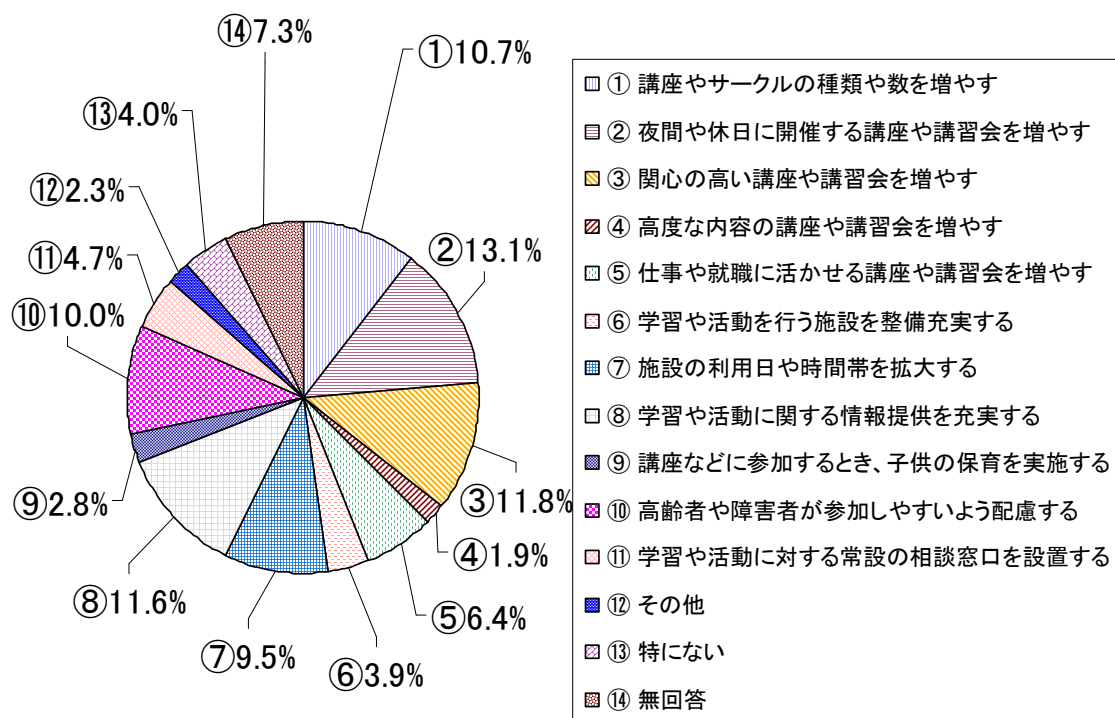
【データからみた傾向】

「そう思う」、「ややそう思う」をあわせると16.5%であり、「あまり思わない」、「まったく思わない」をあわせた20.1%を下回った。また、「どちらとも言えない」、「よくわからない」、「無回答」をあわせると6割を超える結果となった。

生涯学習活動を充実するために必要な取り組み

問 2 6 生涯学習を充実するために、特に力を入れてほしいことは何ですか？

		集計値	
1	講座やサークルの種類や数を増やす	83	10.7%
2	夜間や休日に開催する講座や講習会を増やす	102	13.1%
3	関心の高い講座や講習会を増やす	92	11.8%
4	高度な内容の講座や講習会を増やす	15	1.9%
5	仕事や就職に活かせる講座や講習会を増やす	50	6.4%
6	学習や活動を行う施設を整備充実する	30	3.9%
7	施設の利用日や時間帯を拡大する	74	9.5%
8	学習や活動に関する情報提供を充実する	90	11.6%
9	講座などに参加するとき、子供の保育を実施する	22	2.8%
10	高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する	78	10.0%
11	学習や活動に対する常設の相談窓口を設置する	37	4.7%
12	その他	18	2.3%
13	特にない	31	4.0%
14	無回答	57	7.3%
計		779	100.0%



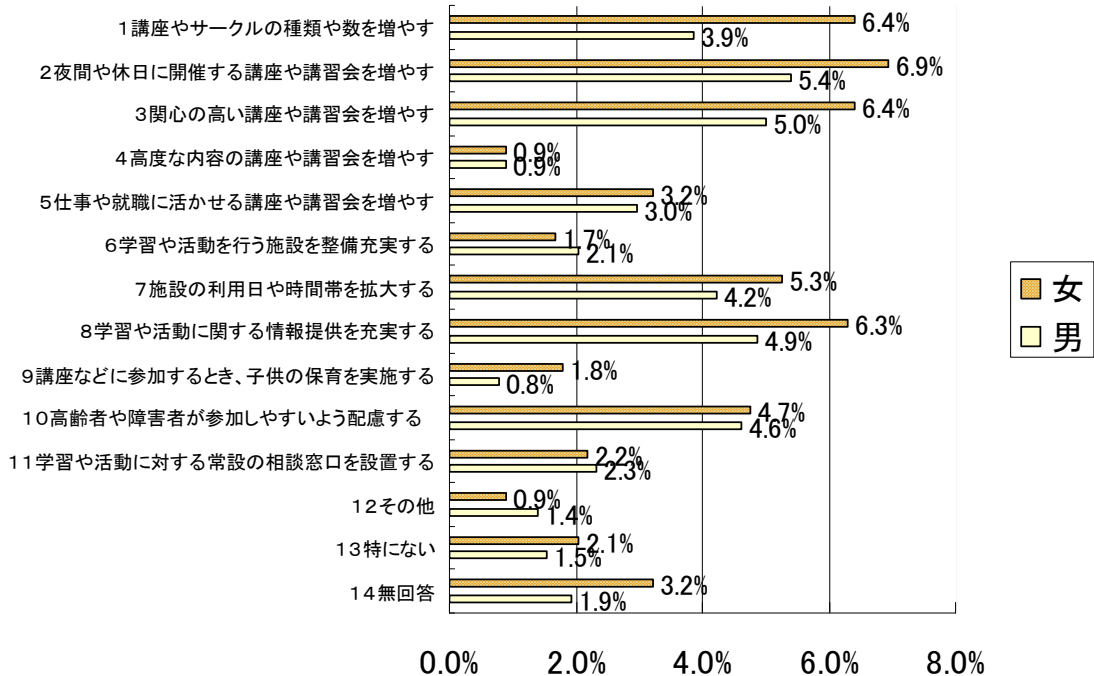
年代・男女別集計表（件数：総数＝779、2つ選択し回答）

	1 講座やサークルの種類や数を増やす	2 夜間や休日に開催する講座や講習会を増やす	3 関心に高い講座や講習会を増やす	4 高度な内容の講座や講習会を増やす	5 仕事や就職に活かせる講座や講習会を増やす	6 学習や活動を行う施設を整備充実する	7 施設の利用日や時間帯を拡大する	8 学習や活動に関する情報提供を充実する	9 講座などに参加するとき、子どもの保育を実施する	10 高齢者や障がい者が参加しやすいよう配慮する	11 学習や活動に対する常設の相談窓口を設置する	12 その他	13 特にない	14 無回答
20代男	2	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
30代男	1	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	1
40代男	4	11	10	4	8	4	9	11	3	3	5	2	2	1
50代男	6	14	8	0	7	3	8	10	1	9	6	5	6	7
60代男	14	14	13	3	4	8	10	10	1	14	5	2	2	6
70代男	3	2	7	0	2	1	4	5	0	10	2	2	1	0
20代女	3	1	0	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	1
30代女	4	6	3	1	2	1	3	5	3	2	2	0	1	0
40代女	13	19	13	2	7	4	11	12	2	5	2	4	4	3
50代女	12	13	14	1	7	6	13	8	6	6	7	2	3	7
60代女	15	11	18	3	6	1	13	19	3	18	4	1	7	11
70代女	3	4	2	0	1	1	0	4	0	5	2	0	1	3
不明	3	6	3	1	2	1	0	3	2	5	2	0	4	17
計	83	102	92	15	50	30	74	90	22	78	37	18	31	57

その他回答欄

早朝や夜間に図書館を利用したい（40代男）  
 交通の便を考慮して欲しい（40代男・40代女）  
 公民館を地域外の人にも開放する（40代女）  
 介護している人でも参加できるように同伴で参加できるものを考えて欲しい（40代女）  
 年齢層を広げ、単純なものから高度なものまで手広くしたほうが良いのでは？（50代男）  
 人気のある講習会の回数を増やす（50代男）  
 外に出て、人と一緒に何か活動しないと「ボケ」ることを強調すること（50代男）  
 今まで感心がなかったため（50代男）  
 高齢者が生きがいや存在意義を見つけられるようなことがあればよいと思う（50代男）  
 会場への公共交通機関の充実（50代女）  
 循環バスのコースを考えて欲しい（50代女）  
 参加することによって行政に影響を与える力を持つ学習効果を希望（60代男）  
 もっと情報が得られるようにして欲しい（60代男）  
 年代によって興味も違うと思うので、ある程度絞り込むことで場所、時間なども考えられるのではないかと（60代女）  
 生涯学習として何が実施されているかわからないので広報紙でのPRの徹底。（年に何度か特集して欲しい）（70代男）  
 10年認知症の妻の介護及び家事をしていて他に気が回らなかった。（70代男）

## 男女別回答について



### 【データからみた傾向】

回答については男女ともほぼ同じ傾向となっており、女性の回答のなかでは、「夜間や休日に開催する講座や講習会を増やす」、「講座やサークルの種類や数を増やす」、「関心の高い講習会や講座を増やす」、「学習や活動に関する情報提供を充実する」が多い。男性は「夜間や休日に開催する講座や講習会を増やす」、「関心の高い講座や講習会を増やす」が、「高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する」が多い。

また、前回調査（平成13年）との比較では、「高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する」は、前回の調査時の5%から10%に増加し、「子供の保育を実施希望」も増加している。ところが、前回の調査で最も多かった「学習や活動に関する情報提供」は、18%から11%へと低下し、「学習や活動を行う施設の整備・充実」も前回の10%から4%に低下している。

これらの結果は市民の生活様式が多岐にわたり多様性がますます広がっていることを示している。その他欄に「早朝や夜間に図書館を利用したい」とあるのもその1つの表れと考えられる。また、生涯学習のための施設は一応充足されてきたことを示している。

## *III* 調査結果の分析

### Ⅲ 調査結果の分析

#### ～入間市生涯学習推進計画に沿って～

ここでは、調査結果を、平成16年度に策定した第2次入間市生涯学習推進計画「いるま生涯学習推進計画プラン21」の4つの施策に沿って分析し、この結果からみた現状と課題についてまとめた。

なお、タイトルの1～4は、推進計画の施策をあらわす。また、前置きとして生涯学習に関する認識について分析する

#### A. 生涯学習についての認識

##### A-1 生涯学習についての認識他（問1・2）

###### a) アンケート結果

###### (生涯学習という言葉について)

知っている	・・・72.0%
聞いたことはあるが意味は知らない	・・・20.3%
知らない	・・・6.4%

###### (生涯学習という言葉の認知度)

積極的に行いたい	・・・22.5%
現在は時間がないが将来はやってみたい	・・・43.0%
行いたい、何をしてもよいかわからない	・・・17.9%
関心がない	・・・9.3%

###### b) 分析

- ・生涯学習という言葉を知っているとの回答が約7割となり、何かおこないたいという回答は約8割となっている。これは、知っていることだけでなく、生涯学習を実践したいという傾向がよみとれる。
- ・上記の傾向は特に男女共に40代以上に顕著にあらわれる。

###### c) 今後の課題

- ・何か生涯学習を実践したい人のために、そのきっかけづくりや情報提供の充実が必要である。

#### 1. まちづくりにつながる学習機会の充実

##### 1-1 市民の主体的な学習活動の支援

###### ①学習活動の有無（問3・4）

###### a) アンケート結果

###### (活動の有無)

している	・・・45.9%
していない	・・・53.0%

###### (その理由)

忙しくて時間がとれない	・・・32.2%
時間帯が合わない	・・・15.7%
希望する内容の学習機会がない	・・・11.4%
子どもや高齢者などの世話がある	・・・8.7% 他

b) 分析結果

- ・活動していないという回答が5割を超えている。その理由として主なものは上記のとおりであり、特に時間の問題が重要となっている。活動しているも45%の回答であり、それほど大差があるわけではない。どちらにしても40代以上の方の回答が男女とも多い。

c) 今後の課題

- ・「生涯学習」という言葉の認識をより多くの方に深めてもらう活動とともに、多様化するライフスタイルに合わせた誰もが気軽に取り組める生涯学習を推進していくことも、必要である。

②学習、活動内容、方法、場所、時間帯他（問5～8）

a) アンケート結果

**(活動内容)**

趣味的なもの	・・・34.6%
健康・スポーツ	・・・26.2%
職業上必要な知識・技術	・・・9.2%
ボランティア活動	・・・9.2%

**(学習や活動の方法)**

個人で学習・活動	・・・19.6%
公民館等の公共施設の講座	・・・17.3%
公共施設で活動しているサークル	・・・16.4%
民間のカルチャーセンター・各種学校・スポーツ教室	・・・13.2%

**(学習や活動の場所)**

公民館	・・・20.4%
自宅	・・・17.5%
民間スポーツ施設	・・・8.1%
その他公共施設	・・・6.2%

**(学習や活動の時間帯)**

平日の午前	・・・17.6%
平日の午後	・・・13.2%
平日の夜間	・・・10.6%
日曜日の午前	・・・8.2%

b) 分析結果

- ・活動内容では男女とも趣味的、健康スポーツが多くみられた。
- ・学習や活動の方法では、個人での学習、公共施設の講座やサークルへの参加、民間施設のスクールへの参加で約7割となった。なかでも男女別では個人での学習、IT関係の学習については男性の方が多くみられた。
- ・学習や活動の場所では、公共施設（公民館含む）が約3割となり、次に自宅との回答が多かった。上記の学習や活動の方法と同様な傾向で個人（自宅）、公共施設が中心となっていることがいえる。
- ・学習や活動の時間帯では平日が昼、夜とも多い。男女年代別で見ると、60代男では日曜日の午前がもっとも多く、60代女性では平日の午前午後が多い。土日より平日の方が活動しやすいと回答が上位となった。

c) 今後の課題

- ・活動内容では「趣味的なもの」や「健康・スポーツ」に回答が集中している。活動の場所は公民館等の公共施設の割合が高く、場の提供という点で重要な位置を占めている。活動を受け入れる施設は趣味的な講座だけでなく、まちづくりに関することなど、さまざまなテーマの講座を設定する必要がある。また、青少年等の若者世代が参加しやすい体制づくりも必要である。

## 1-2 開かれた学校づくりの推進

### ① 地域に開かれた学校づくりに必要なこと（問 11）

a) アンケート結果

よくわからない	・・・21.3%
地域の人材や社会教育施設の活用	・・・18.8%
学校の地域活動への参加	・・・18.0%
余裕教室を地域に開放	・・・13.0%

b) 分析結果

- ・地域の人材や社会教育施設の活用や学校の地域活動への参加など、学校と地域のつながりが、さらに増えることが必要とされている。これらは男女とも40～60代の方々に多くみられ、子どもに係ることが多いためといえる。しかし、「よくわからない」の回答が一番多く、設問の内容が理解されていないともいえる。

c) 今後の課題

- ・今後の推進のため、学校側から何を期待又は必要としているのか、市民側からは何を提供できるのか等、相互の情報発信と交換が必要である。

## 1-3 すべての市民の学習・文化生活的充実

### ① 学習や活動の環境、望むこと（問 25、26）

a) アンケート結果

**(学習や活動に参加しやすい環境について)**

よくわからない	・・・27.4%
どちらとも言えない	・・・24.3%
あまり思わない	・・・17.7%
ややそう思う	・・・11.0%

**(学習や活動の充実に特に力をいれてほしいこと)**

夜間や休日に開催する講座や講習会を増やす	・・・13.1%
関心の高い講座や講習会を増やす	・・・11.8%
学習や活動に関する情報提供を充実する	・・・11.6%
講座やサークルの種類や数を増やす	・・・10.7%

b) 分析結果

- ・参加しやすい環境については「そう思う」「ややそう思う」の合計(16.5%)より「あまり思わない」「まったく思わない」の合計(20.1%)が多い。これは、生涯学習活動をしていないという回答が5割を超えていることが関連してくると考えられる。
- ・活動等の充実に力をいれてほしい点については、全体的に講座や講習会等の開催回数を増加や情報提供の充実に望む回答が多かった。

c) 今後の課題

- ・夜間、休日の講座や講習会の増加を望む声が多く、団塊の世代の退職により生活様式の多様化に対応した「学習機会の充実」が必要である。高齢者や障がい者が参加しやすいように配慮してほしいという意見も多く、すべての市民が学習や文化活動に参加できる環境の整備と、プログラムの開発等が必要である。
- ・問 25、26 とも「無回答」が約 12%もあり、市の生涯学習推進計画が浸透していないと思われる。わかりやすい用語（愛称）等で市民にアピールしていく必要がある

## 2. 学習効果の地域社会への活用

### 2-1 学んだことを地域に生かす機会と場づくり

#### ①学習や活動成果の活用（問 9、10）

##### a) アンケート結果

###### (活用について)

健康管理や趣味に活かしている	・・・23.4%
大会や発表会等で発表、紹介している	・・・12.3%
家庭生活に活かしている	・・・10.5%
ボランティアや地域活動に活かしている	・・・7.2%
活用していない	・・・2.5%

###### (活用していない理由)

自分自身の学習で満足している	・・・85.7%
活用するための情報がない	・・・14.3%

##### b) 分析結果

- ・何か活用していると回答した方は全体の6割であり、中でも健康管理系が男女とも一番多い。

##### c) 今後の課題

- ・自己の学習を充実している人が多いが、それをボランティアや地域活動に活用している人は少ない。今後は学んだことを地域社会へ生かしていくことが課題である。さらにその機会を増やすために、情報提供等について充実することも必要である

### 2-2 地域が持つ教育力の学校教育への活用

#### ①知識技術経験の学校教育への活用（問 12、13）

##### a) アンケート結果

###### (活用について)

活用したことはない	・・・69.0%
その他の学校行事に協力	・・・9.8%
授業に活用	・・・5.6%
安全活動に協力	・・・2.4%

###### (活用可能な内容)

考えていない	・・・47.5%
その他の学校行事に活かしたい	・・・14.0%
クラブ活動の指導	・・・9.5%
美化活動	・・・6.3%

- b) 分析結果
  - ・活用したことがない人、活用可能と考えていない人が最も多い。
- c) 今後の課題
  - ・市民が持つ知識・技術体験などの教育力が、学校教育の中で活用されやすくするために情報等の整理を体系的に行うことが必要である。現時点においても様々と取り組みが行われており、それらの情報を共有、交換しさらなる活用へ向けての取り組みを推進する。

## 2-3 ボランティア活動の促進

### ①ボランティアの経験、充実（問 14、15、16）

#### a) アンケート結果

##### （経験について）

参加したことがない	・・・44.2%
ある	・・・36.4%
機会があれば参加してみたい	・・・14.1%

##### （ボランティア活動に提供できる知識等）

福祉関係	・・・16.0%
環境	・・・14.2%
地域づくり	・・・13.4%
健康・スポーツ	・・・12.7%

#### b) 分析結果

- ・ボランティア活動等に参加したことがない人が 44.2%であるが、参加したことがある人（36.4%）と機会があれば参加してみたい人（14.1%）で前向きに考えている人は、50%を超える。また、提供できる知識や技術等については複数回答ではあるが 648 件もあり、ボランティアに感心があると思われる。

#### c) 今後の課題

- ・ボランティア活動の推進を図るためにボランティア情報の入手場所の明確化、子供のころからのボランティア体験活動の推進、ボランティア活動の奨励や啓発活動などの取り組みを今後とも充実・強化する必要がある。

## 3 生涯学習情報と相談体制の充実

### 3-1 効果的な生涯学習情報の収集と提供方法の検討

#### ①生涯学習情報の状況（問 17、18、19）

#### a) アンケート結果

##### （情報の入手方法について）

市報	・・・35.7%
公民館だより	・・・15.9%
くちコミ	・・・8.7%
新聞・ミニコミ誌	・・・8.4%

##### （情報提供の満足度）

やや満足している	・・・31.6%
やや不満である	・・・29.1%
満足	・・・12.6%
不満	・・・9.7%

(理由)

情報が入手しにくい	・・・22.5%
現状のままで十分足りている	・・・20.8%
情報量が少ない	・・・16.6%
必要な情報がえられない	・・・8.2%

b) 分析結果

- ・情報の入手方法については、市報と公民館だよりで50%を超える。情報提供に対する満足度については「満足」と「やや満足」で44.2%、「不満」と「やや不満」で38.8%となり概ね満足と判断されている方が多くなっている。しかし、回答の理由については「情報の入手しにくい」、「情報量が少ない」の意見が上位を占めている。

c) 今後の課題

- ・情報発信の仕方を再検討するとともに、さまざまな方法で情報提供を推進していく必要がある。

### 3-2 学習相談体制の充実

①生涯学習相談の状況(問20、21、22)

a) アンケート結果

(相談の有無について)

ない	・・・92.5%
ある	・・・3.1%

(相談窓口)

公民館	・・・44.4%
体育館・武道館	・・・16.7%
市役所・支所	・・・11.1%

(相談内容)

サークル情報	・・・22.5%
講座やイベント情報	・・・20.8%
ボランティア活動	・・・16.6%

b) 分析結果

- ・生涯学習相談については相談をした方は3.1%であった。前回調査では常設窓口があるという条件つきとはいえ65%の方が利用すると回答であった。

c) 今後の課題

- ・各公民館等の窓口では、随時相談を受付しているので積極的に利用していただくよう周知する必要がある。
- ・問1での「生涯学習」という言葉を知っている回答が増えたことを考慮すると、相談の必要性が少ないのか、または相談が何かわからないのか、よく検討すべきと思われる

## 4 生涯学習の普及・推進

### 4-3 生涯学習理念の普及事業の充実

①フェスティバルについて(問23、24)

a) アンケート結果

(参加について)

知らない	・・・ 42.8%
知っているが参加したことはない	・・・ 42.4%
参加したことがある	・・・ 7.3%
毎年参加している	・・・ 2.0%
(感想)	
良かった	・・・ 37.2%
普通だった	・・・ 25.6%
大変良かった	・・・ 16.3%
無回答	・・・ 9.3%
その他	・・・ 7.0%
つまらなかった	・・・ 2.3%
物足りなかった	・・・ 2.3%

b) 分析結果

- ・生涯学習推進の重要な事業として取組んできたことにより、知っている～参加している人の割合が過半数を占めた。しかし、フェスティバルという言葉は知っているが参加したことがある人は合計で9.3%となった。

c) 今後の課題

- ・フェスティバルの周知をさらに進める必要がある。あわせて、魅力ある事業や効率的な運営で内容を充実するとともに、来場者を増やしていく必要がある。

---

## 入間市生涯学習市民意識アンケート報告書

発行日 平成21年12月

発行 入間市教育委員会

埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号

電話 04-2964-1111 (代表)

調査・分析

「生涯学習に関する市民意識アンケート」プロジェクトチーム

入間市生涯学習をすすめる市民の会

多田外志・斎藤次雄・室山茂子・岡野 亘

関谷敦子・鈴木政昭・人見友章

入間市生涯学習推進庁内ワーキングチーム

黒田直明・小久保昌宏・松谷敏行・藤本耕史

小松辰也・今井正美・宮岡 弘

---

